

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第88回理事会および
第70回運営審議会
合同会議
平成18年10月



‘평화의 섬 제주에서 생각하는 한일관계, 역사 그리고 미래’를 주제로 한 2006 한·일학생 포럼이 18일 중소기업지원센터 대회의실에서 열렸다. <김대생 기자>

“과거사 문제 해결이 우선”

제4차 한일학생 포럼… 4·3 등 근현대사 열띤 토론

제4차 한일학생포럼이 17일부터 19일까지 제주대와 중소기업지원센터 회의실에서 열려 한일관계를 지혜롭게 해결하기 위한 방안이 논의됐다.

제주대 정치외교학과와 아시아여성기금 주최로 열린 포럼은 제주대등 국내 대학, 일본 동경지역 대학생 등 13명이 패널로 참가해 토론을 벌였다.

제1분과 주제인 4·3사건에 대해 일본 대학생들은 인터넷을 통해 공동 연구한 자료를 발표했고, 한국 학생들은 대학생 시각에서 불행한 과거 역사가 어떻게 극복돼야 하는지 논의했다.

이어 제2분과 주제인 신세대가 생각하는 한일관계에 대한 논의가 진행됐다. 위안부·아스쿠니 신사참배·일본 교과서 문제 등에 대해 두 나라 학생들이 의견을 교환했고, 앞으로의 과제에 대한 교민이 이어졌다.

일본 주오대 학생 다나베 이노모리씨(22)는 일본사회의 우경화에 대해 우려하며 “고이즈미 일본총리의 아스쿠니 신사참배는 주변국과의 대립구도를 불러일으킬 수 있는 소지가 충분히 있다”며 “신사참배로 주변국들을 자극할 필요는 없다고 생각한다”고 말했다.

제주대 김영중 학생(24)은 “양국의 과거사 문제를 어떻게 해결하느냐에 따라 협력과 갈등의 폭이 결정될 것”이라며 “양국의 입장을 명확히 전달하고 이해시키려는 노력이 필요하며, 과거사 문제를 협상의 전면에 내세우는 것을 자제해야 한다”고 말했다.

한편 참가자들은 19일 항동유적지와 평화박물관, 송악산, 옛 일본군 비행기지 등을 둘러볼 예정이다. <김효영 기자>

過去事問題の解決が優先

第4回韓日学生のフォーラム 4・3などの近代史で熱を帯びた討論

第4回韓日学生のフォーラムが17日から19日まで、済州大と中小企業センターの会議場で開かれ、韓日関係を賢く解決するための方案が論議された。

済州大政治外交学科とアジア女性基金の主催で開かれたフォーラムは、済州大など国内の大学、日本の東京地域の大学生など13名がパネルとして参加し、討論を繰り広げた。

第1分科の主題は4・3事件について日本の大学生はインターネットを通して共同研究した資料を発表し、韓国の学生らは大学生の視角から不幸な過去の歴史がどのように克服されなければならないかを論議した。

引き続き、第2分科の主題は新世代が考える韓日関係に関する論議で進められた。慰安婦・靖国神社の参拝・日本の教科書問題などについて、両国の学生たちが意見を交換し、これからの課題に対する悩みが相次いで出された。

日本の中央大学生のタナベアノモリ(マ)さん(22)は日本社会の右傾化について憂慮し、「小泉日本総理の靖国神社参拝は、周辺国家との対立構図を引き起こしうる素地が十分にある」とし、「神社参拝で周辺国を刺激する必要はないとおもう」と語った。

済州大の金榮重君(24)は「両国の過去事問題をどのように解決するかで協力と葛藤の幅が決まるであろう」とし、「両国の立場を明確に伝え、理解させる努力が必要であり、過去事問題を交渉の前面に押し出すことは自省しなければならない」と語った。

一方で参加者らは19日に抗蒙遺跡地と平和博物館、松岳山、旧日本軍飛行基地等を見て回る予定である。(金ヒョヨン記者)

(済民日報2006年8月19日社会面)

縦並び社会

総一郎格差克服への提言

⑤

活性化へ公共投資も

地域の格差があまり大きくなり、どの地域でも自立した生活を送れることが望ましい。だが、そうはなっていない。立地条件が良い地域に企業や人が集まるのが経済の原理原則だからだ。それを抑える活動力がなくなるが、放置すると地域格差が非常に大きくな



旧自治省出身。著書に「地方財政調整制度論」など。竹下登首相以降7内閣で官房副長官。79歳。

内閣総理府

元内閣官房副長官 石原 信雄氏

「りすぎ」と言っている。しかし、東京に本店のある企業が納める法人税などは、全国で上げた利益によってもたらされる。都会が地方に回すのは当然だ。

国が借金をしてまで地域の財源を補う地方交付税は改革せざるを得ない。その結果、保障レベルは下がるだろう。しかし「健康で文化的な生活」を国民に保障する憲法の理念を捨ててはならない。貧しい地方でも福祉や教育の一定水準を確保するため、国の財源保障は今後も欠かせない。まずは国が保障すべき「セーフティネット」とは何かを議論する必要がある。

自治体は経営が苦しくても廃業できない。財政再建団体の申請をした北海道や、張市のような場合でも、歳出削減を促して借金を返せないなら税金を投入しても住民サービスを守らなければならない。極端な自己責任論、市場原理は地方自治にそぐわない。

中央省庁が持つ経済政策の権限を道州制で地方に移し、地域が企業にとって魅力ある施策を打ち出せるようになることも不可欠だ。自治体にも憲法改革が求められる。自治体が膨大な借金を抱えてしまつたことのないように、財務内容を徹底的に情報公開して住民がチェックする仕組みを作るべきだ。

〃〃〃

ポスト小泉

問われるもの

いしはら・のぶお 東大卒。1952年自治庁(現・総務省)入庁。自治事務次官を経て、1987年内閣官房副長官に就任。竹下登首相から村山富市首相まで7年余、7人の首相に仕えた。地方自治研究機構理事長。群馬県出身、79歳。

「二〇〇一年一月の中央省庁再編後ほどなく誕生した小泉政権は、この五年間で官邸主導から政治主導の政策決定・実行を定約させた」と評価されているが、どう見るか。

「それまで重要な政策は、各省の意見を集約して、内閣としての方針を決めていくスタイルが常軌的だった。各省庁と内閣の各部会が往々にして、内閣の方針決定に阻害になっていたことは間違いない。小泉政権は「自民党をぶっ壊す」ことにより、官僚機構との関係も劇的に変え、内閣機能強化という省庁再編の狙いを実行に移した」

「内閣機能強化の代表例が経済財政諮問会議だ。」「重要政策方針を内閣議員とともに、おおよその枠組みを決めて首相の決断で押し通すスタイルは、これまでなかった」とだ。私も内閣に「官房副長官として」長く務め、



元官房副長官 石原 信雄氏

3 政と官

説得型・竹下流も必要

政策調整でいろいろ苦労した。官邸に有無を言わさず決めにしよう方が(政策決定も早い)、政権と官僚機構との間に不信感も生まれやすくなるという指摘もある。

「内閣が指導力を発揮し、各省庁統制の弊害を克服するプロセスの中で、官邸を頭から信頼しない」「官邸監視」のスタイルが、ある程度

前面に出てきたことも事実。官邸を最初から排除するのではなく、それなりの政治力で説得し、心服させることが大事ではないか。故竹下登元首相は官邸を信頼し、意見尊重しつつ、「いろいろ立場はあるが、国全体のためには、ここはひとつ協力してくれ」と説得するやり方だった。官邸の無い分は聞きつつ、その能力を引き出すことは必要だ。

「ただ、族議員や派閥に振り回されるような内閣ではやはり困る。小泉さんのような決断力、実行力は、次の首相にも絶対に望まれる」

「政治主導を進めるため、時の政権が民間人任用制度を導入する構想をどう考えるか。」

「日本の政治体制をはじめ行政機構、選挙制度は、歴史的に欧州型で、官僚組織が重要な政策の企画立案をする。一方、米国では政治家一人一ぱ、中央政府と自治体の調整人、政策立案能力に優れている総務省に、「郵政」を管

省庁再々編の議論進めよ

理する部門が入ってくる必然性は全くなかったが、扱いが重に押していたし、最後にくっつけられた。環境省も農林水産省の林野関係、建設省の河川管理、自然保護にかかわる仕事を全部一元化しようという話だったが、関係者の反対もあり、中途半端な形になってしまった」

「省庁再編して五年たち、うまくいっていないところが分かってきたわけだから、二〇一〇年までに見直す議論を進めるべきだ」

「現時点の有力な総裁候補である安倍晋三官房長官、麻生太郎外相、谷垣禎一財務相についてひと薦。」

「三人ともお父さんともどもよく知っている。安倍さんは内政面では、少なくとも小泉さんの路線に一番近い考えと思うが、人柄は小泉さんとはかなり違う。麻生さんは非常に率直で、多くの意見を受け入れる人ではないか。谷垣さんは行政のルールもよく心得ており、官僚機構としては一番仕えやすいイメージがある。三人とも、頭から「官邸はけしからん」というスタイルではないことは確かだろう」

(聞き手・岩田伸弘、清水俊介)

秦郁氏は時々よいと

先般、富田朝彦元宮内大臣
官が若き残したメモの一部が
マスコミに取り上げられた。

昭和天皇が晩年、樺太國際事
事裁判でA級戦犯とされた人
たちの靖国神社への合祀に不
快感を示されたという内容の
部分である。これは靖国神社
問題を論じてきた人たちに大
きなショックを与えた。もし
てその靖国メモの信憑性を疑
う議論が芽出てきた(例えば
『週刊新潮』8月10日号)。

このメモ内容の評價はさておき、このメモの報道に当たつて、秦氏は本紙記者からコメントを求められた際、「問題点となつた波及効果も及ぼすか、どう議論してみても、最終的な判断が靖国神社にある限り、偶々論になつてしまふ。この問題はしばらく議論を凍結してはどうか」と續けた（本紙7月2日付）。

出た。たゞて首根に迫ることに
なつてしまつた。

そこに中国や韓国からの意
相参拜中止を求める強い非難
が起つて、いっそう論争に拍
車をかけた。中には来月の自
民党総裁選、つまり事実上の
次期総理の選出で靖国問題が
最大の争点だとにかくに世
くメディアも現れた。

私は戦争好きで、まれには瞬間湯沸器などとかからかう親しい友人もいる（私は絶対そうは思わないが）。その私がこの論戦が激しくなればなるほど、事態観察の冷徹さは生われ、偏念の露骨なぶつかり合いにならないかと恐れていた。

論 正



東京大学名誉教授
衛藤 藩吉

思つていた折から、この秦氏の短いが的を射た論議陳述結の提案、つまり休戦の意見を、頼もしく思つたのである。

好と双方を期案する三立方稱式の解、つまりわが国にとつて最大の利益点を求めるのは、宰相としての實務であると考へる。そして、この座標軸の重点の置き方の違いが、今日激しい論争を引き起している。

策ののどに棘を刺すことはい
とうまい、そして決して譲歩
しないであろう。中韓両国政

府にとつて、この問題で譲歩することは、国内的に有利な情勢をつくり出すとは思えないからである。

そして現世そうなりつつあるのを悲しんでいる。この悲しみをともに分かち、語り合ふ仲間がないことを寂しく

み筋を通そうとしたりする。眞方ヲシヨナリズムの評価點と仮に名づければ、もう一つ

對外友好外交の評価軸も二國の宰相として忘れてはならぬといはずである。これが英知ある將來の解決策を求める縱上

横の判断軸であることに、上方の異存はなかる。

のである。もうよいではないか。双方に休戦ラッパを吹くことを勧めたい。

首相の参拜問題について、この最大利益点を探すとすれば、私は「遥拜」を勧めたい。わざわざ九段まで行か

とも、官邸で靖国神社に遇し、心中「参拝せず、ごめなさい。対外友好政策を打建てるために中国や韓国に

総合的国益は何かを考えるとき

「魔應します」と宰相としての
苦衷を述べて、はるかに伏し
拜めばよいではないか。

神社側にも求めたい変化
げしからん屈辱外交だ、と
の非難を受けようが、その上

奥宗光の懐恨、ポーツマス講和会議でロシアから賠償金を取らずに妥結し、日比谷焼死の騒動まで起る中でジツとこゝろえた小村寿太郎の煩悶を想起し、我儘ならいかがか次期総理にはどなたがなられよう、ぜひこの二本の座席軸での配慮を願いたい。

そして、秦氏の言つ通り、靖国神社側もまた、變つてほしいと願ふ。明治以來、萬歳を祀る社として國民的評價を得てきた靖国神社は、その評価を繼承すべく、柔軟な姿勢を以て歴史の推移、国内外の

情況の變化に対応すべきである（どう變るべきかの私見見こころでは触れまい）。

あまりに口腹依然としてを過ぐすと、いづれも國民信頼を失ふことにもなりかないと私は思っている。

（えとう しんきち）

グルメ、趣味、お金。セカンドライフを満喫しよう

Yahoo!検索

検索

YAHOO! ニュース
JAPAN

Yahoo! JAPAN - ヘルプ 毎日新聞

10万円てどこへ行く?
JTB旅行券ナイスリップ
10万円分プレゼント!
未来携帯Lab
»応募する

トップ 主要ニュース 国内 海外 経済 エンターテインメント スポーツ コンピュータ 地域 写真 動画

北海道 東北 関東 信越 北陸 東海 近畿 中国 四国 九州 沖縄

大分ニュース - 9月27日(水)14時0分

福岡 | 佐賀 | 長崎 | 熊本 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島

[PR] <<めざせ9日で-4kg!>>食べヤセ体験を実感?コレでダメなら全額返金

秋 TOWA 藤和不動産の
新築マンション情報

- マイホーム取得を後押し
- 全期間1%の金利優遇
- 藤和スーパー住宅ローン

安倍内閣:発足 村山元首相と平松前知事対談 /大分

◇アジアへの謝罪を明確に／都市と地方の格差是正を

安倍晋三内閣が26日、発足した。戦後生まれでは初の首相。「き然とした」政治手法への期待と不安が交錯する。共に戦争体験者、長い政治経験がある元首相、村山富市さん(82)と前知事、平松守彦さん(82)に大分市のホテルの一室で、組閣の模様を伝えるテレビを見てもらいながら新内閣への注文を語り合ってもらった。【藤原弘】

◇初の戦後生まれ首相に、戦争知る“長老”から注文

——安倍首相への期待と不安は、お二人はどちらが大きいですか。

平松 期待が上回っています。岸(信介・元首相)さんの孫。戦後の平和日本を作る努力をした岸さんの政治を目の当たりに見て育った。過去の戦争の教訓は踏まえた上で、新しい時代を作っていってほしい。

村山 私は不安の方が大きいなあ。歴史認識や、現憲法でも集団的自衛権を認めようとする考え方、教育基本法改定など、戦前の考えに戻ろうとするにおいがする。

——村山さんは首相だった95年、戦前戦中の行為をアジア諸国に正式に謝罪する「村山談話」を出しましたが、安倍首相は談話を踏襲するとは明言していません。

村山 首相在任中にアジアを回ると、どの国でも温度差こそあれ「日本政府は公式に謝罪していない」との不信を感じた。戦後50年の節目に払しょくしてけじめをつけようと談話を出した。小泉さんも談話を踏襲した。国際的な約束です。安倍さんもこの点を明確にしてほしい。戦前の歴史を踏まえた上で、安倍さんの戦後生まれの新しい発想に期待する面は大きいですよ。

平松 今、中国には一村一品運動が広がっています。中国との関係で、村山談話を安倍さんがどう判断するのかを注目している。外相に留任した麻生(太郎)さんはどちらかと言えば小泉さん寄りの強硬派だし、麻生さんを正面に立ててどう中国と折り合いを付けるのか注目だね。

——小泉内閣では都市と地方の格差が広がったと指摘されます。

平松 安倍さんを応援する若手議員たちが「再チャレンジで格差是正」

6/34

トピックス

運転手不明 衣類や車内灯発見
篠塚明被告に懲役1年6月求刑
長野県が脱「脱ダム宣言」
福島県知事 辞職要求高まる
稚内母殺害「殺人組織の指示」
中2女子が男子生徒に切られる
「ギャル男の聖地」渋谷に誕生

一覧

写真ニュース



(拡大写真)

青山「こどもの城」近くに複合ビル設計
は青木淳氏(シブヤ経済新聞)

一覧

News×Watch
@fresh24

最新ニュースをメールで受信

- 奈良小1女児殺害事件
- 桑田真澄
- ディープインパクト

というけど、ちょっと違うと思うんですよ。アメリカ流のマネーゲームで敗れた人に、もう一度チャンスを与えるという発想。インフラ整備や教育環境の格差は都市と地方では歴然と開いている。格差是正は安倍さんにとってアジア外交の修復と並んで大事です。

村山 僕が首相の時に地方分権推進法を作ったけど、最近では中身が変わってきたような感じだなあ。市町村合併でも、役場が支所になって職員が3分の1に減り、おかげで商店が閉まり地域が寂れていっている。底辺から市町村を振興する発想が安倍さんに見えないのが残念だなあ。

——さて、新内閣の顔ぶれはいかがですか。

村山 あまりパツとせんなあ。今は大臣に権威がないんじゃないよ。小泉さんの時は総理だけ目立って大臣は影もなかった。官房長官は与謝野(馨)さんが一番いいと思ったんじゃないが。総理に代わる役、各省庁をまとめてやいかんし。重要な課題に(内閣府)特命大臣を配したことに特徴があるね。重要な課題を官邸が切り回そうという意気込みを感じる。

平松 実務実行型。課題が大きい防衛と外交にベテランを置いて手堅い。小泉さんは小泉劇場だったけど、安倍さんは劇場という感じはないね。「サプライズ」は、なかったね。

9月27日朝刊

(毎日新聞) - 9月27日14時0分更新

前後の記事 - [大分]

- 安倍内閣:発足 村山元首相と平松前知事対談 /大分(毎日新聞)
- 台風13号:臼杵市、生活支援策拡充 住宅再建へ最高150万円支給 /大分(毎日新聞) - 14時0分
- 懲戒免職:三等陸曹、新入隊員から20万円を詐取——陸自別府駐屯地 /大分(毎日新聞) - 14時0分
- 在日米軍:日出生台での米海兵隊演習「知事は容認撤回を」市民団体が要請文 /大分(毎日新聞) - 14時0分
- 安倍内閣:発足 改革の痛みに配慮を——広瀬知事コメント /大分(毎日新聞) - 14時0分

アクセスランキング - [国内]

- 1 切り付けたのは同学年男子=股に血、興奮し飛び降り図る一中2女子校内傷害・熊本(時事通信)
- 2 交際反対され母親刺す、高1二男を殺人未遂逮捕(読売新聞)
- 3 糖尿病になると、がんの危険性が高まる(読売新聞)

→1位～20位

注目の情報

あなたのアイデアが
未来の携帯を創る!

未来携帯.Lab

アンケートで当たる!
1000円のおサイフ
100万円のおサイフ

応募する

未来携帯ラボが理想の携帯募集中
同時通訳、犬と会話、体脂肪測定? [未来携帯ラボ]理想の携帯アンケートに答えて抽選で旅行券10万円分プレゼント!

詳しくは《未来携帯ラボ》で!

過去の大分ニュース一覧: 2006年9月27日(水) 表示

7/34

'Comfort women' issue far from closed

By CESAR CHELALA

Special to The Japan Times

NEW YORK — V-Day, a global movement to stop violence against women and girls, is putting the "comfort women's" crusade for reparations in its spotlight for 2006. As part of the activities, in the summer of 2006 the Global Campaign will include celebrity benefit performances of "The Vagina Monologues" in Seoul and Tokyo, with the voices of comfort women in a monologue written by playwright and V-Day founder Eve Ensler. The organization's goal is to draw international attention and support to what many consider one of the most serious crimes against women in the 20th century.



Japan's continuing refusal to reach an agreement with the former "comfort women" has been sharply criticized by Amnesty International. In a report issued at the end of 2005 titled "Still Waiting After 60 Years: Justice for Survivors of Japan's Military Sexual Slavery System," this organization calls on the Japanese government to accept full responsibility for crimes committed against women condemned to sexual slavery by their Japanese recruiters. These so-called comfort women were recruited from several countries, mainly Korea, during World War II, and forced to serve as sexual slaves for the Japanese soldiers.

Among the estimated 100,000 to 200,000 women recruited from different countries, 80 to 90 percent were from Korea. Girls as young as 11 were forced to serve between 5 and 40 soldiers a day, and almost 100 soldiers on weekends. Those who resisted were often beaten, burned or wounded. During the Japanese retreat many were left to starve or were executed to eliminate any trace of the atrocities they were subjected to by the Japanese military.

For many years after the end of World War II, the government of Japan had insisted that the "comfort stations" were in fact private brothels that had been administered by private citizens. Only in 1993 did the government admit that the Japanese military had been "directly or indirectly" involved in establishment and operation of "comfort stations" and in transportation of the women. The Japanese government also said that private citizens, at the request of the military, had been mainly involved in recruitment of the women.

The first Korean former comfort woman to tell her story was Bae Bong Ki, in

1980. After her, Kim Hak Soon, who died in 1997, related in 1991 how she was abducted by Japanese soldiers when she was 17 years old, and forced to carry ammunition by day and serve as a prostitute by night. Her testimony sparked several other testimonies by women who were obliged to work as sexual slaves in military comfort stations. Evidence of such stations has already been found in the Koreas; China, Malaysia, the Philippines, Singapore, Indonesia, Thailand, Myanmar, New Guinea and Okinawa.

Illustrative of the ordeal comfort women went through is the testimony of Chung Seo Woon in the book titled "Making More Waves" (Beacon Press, Boston, 1997). Chung was an only child born in Korea to the family of a wealthy landowner. Because of his activities against colonial rule, her father was sent to prison and badly tortured. When she was 16

Japan's continuing refusal to reach an agreement with former "comfort women" has been sharply criticized by Amnesty International

she was allowed to visit her father. The same Japanese official who allowed her to see her father came later to her house. He told her that if she went to work in Japan for two years her father would be released. Despite strong objections from her mother, she agreed to do so.

Chung was placed on a ship with many other girls and women. She was hopeful that at the end of the two years her father would be released from prison, as she had been told by the officer. After being taken to Japan, the women were sent to several other countries and a group of them left in each country. After reaching Jakarta, the group that included the young Chung was taken to a hospital where she was sterilized.

The group was then taken to Semarang, a coastal city in Indonesia, and placed on a row of barracks. From then on they were obliged to perform sexual intercourse every day with dozens of soldiers and officers. In the process, she was forced to become an opium addict. Chung attempted to commit suicide, by swallowing malaria pills.

Two of her friends reported her to the authorities, she was revived, and, she remarks, "It was then that I made up my

mind to survive and tell my story, what Japan did to us." When the war ended and she returned home, she found her house deserted. From neighbors who came to help her she learned that her father had died while in prison. Her mother, humiliated by the Japanese soldiers' attempt to rape her, committed suicide.

Chung decided rid herself of the opium addiction. She managed this after eight months and she worked hard to regain her dignity as a human being. She was never able to attain a normal sex life, but found companionship and care from a physician who had had a nervous breakdown after serving in the Japanese Army.

In November of 1994, an International Commission of Jurists stated that, "It is indisputable that these women were forced, deceived, coerced and abducted to provide sexual services to the Japanese military... [Japan] violated customary norms of international law concerning war crimes, crimes against humanity, slavery and the trafficking in women and children... Japan should take full responsibility now, and make suitable restitution to the victims and their families."

Still unresolved is a formal, clear and unambiguous apology to the victims of sexual abuse by Japanese soldiers, an adequate monetary compensation to the victims by the Japanese government, and the punishment of those involved.

In 1995, the Japanese government introduced the Asian Women's Fund as a response to strong international criticism. However, the fund is widely perceived by the survivors as a way for the Japanese government not to fulfill its legal responsibilities toward those women. As Purna Sen, director of Amnesty International's Asia-Pacific Program has stated, "The Japanese government must finally right the wrongs of over 60 years by providing full reparations to the survivors of this horrific system of sexual slavery."

There is an important symbolic meaning related to the issue of monetary compensation. During her testimony at the Fourth World Conference on Women held in Beijing in 1995, Chung declared, "I might be poor, but not that poor. I demand the compensation that is rightly due to me, even if I would burn the money after it is in my hand. It is not a matter of money but of principle. The Japanese have defiled my body but not my spirit. My spirit is strong, rich, and proud."

Dr. Cesar Chelala is a winner of an Overseas Press Club of America award for an article on human rights.

被害者高齢化「最後の慰安婦訴訟」

精神的苦痛、今も

海南島の8女性 国賠請求30日判決

第二次世界大戦中に中国南端の海南島で、旧日本軍に慰安婦とされた元慰安婦の戦後補償裁判、10件のうち、唯一審で継続中だった。被害者8人（うち2人死亡）が国に対し、1人当たり2300万円の賠償と謝罪を求めた訴訟の判決が、原告側は「被害事実を認め、国に救済を迫ってほしい」と判決に期待をかける。

原告は1941～45年、14～18歳の時に拉致され、慰安所に監禁され、連日性的暴行を受けたと主張。戦後も日本政府が事実を認めず、戦時中の権力的行為については国に賠償責任はない。仮に責任があったとしても賠償請求権は20年の除斥期間（権利の存続期間）を過ぎて消滅したと主張している。

原告の陳麗蘭さん（78）は14歳の時、慰安所へ連行された。戦後は8度も流産・死産を経験。今年3月の本人尋問では「進んで慰安婦になったかのように言われ、現在もつらい思いをしている。潔白を証明してほしい」と訴えた。

日本に戦後補償を求める国際会議

マニラで開幕

【マニラ大演文】日本、韓国、北朝鮮、中国、フィリピンなど世界8カ国・地域の非政府組織（NGO）が参加し、日本政府に戦後補償を求める国際会議「日本の過去の清算を求め、除斥期間などについて議論。請求棄却を求めている。中国や台湾、韓国、フィリピンなどの元慰安婦が起した戦後補償裁判は、被害の事実を認定しつつも、除斥期間などで請求を棄却する判決が大半で、7件で原告敗訴が確定し、2件は東京高裁で敗訴した原告側が上告している。【高倉友彰】

2006.8.21. JAPANTIMES

Last of district court-level sex slave lawsuits fails

Kyodo News

The Tokyo District Court on Wednesday dismissed a damages suit filed by eight Chinese women against the Japanese government for forcing them to provide sex to Imperial soldiers during the war and not taking measures to restore their honor.

The plaintiffs, two of whom had died, after which their suit was taken up by relatives, were in their teens when the Imperial Japanese Army occupied China's Hainan Island and forced them to work as sex slaves, euphemistically called "comfort women" in Japan.

The latest court ruling is the last case involving comfort women at the district court level, according to the plaintiffs' lawyers. Ten lawsuits involving sexual slavery have been filed to date, and only one ended in a favorable district court ruling. Seven have been dismissed and two

are pending before the Supreme Court.

The women say they have been treated coldly by neighbors, and sometimes by their own family members, because of their forced prostitution. They claim such attitudes are a result of Tokyo's failure to acknowledge the

abuse they endured and to offer an official apology.

The plaintiffs also claim they continue to suffer post-traumatic stress disorder.

The plaintiffs filed the lawsuit in July 2001, initially seeking ¥3 million each in compensation and an official apology from the government.

Filipinos abandoned during war sue for Japanese citizenship

Kyodo News

Eighteen people abandoned by their Japanese fathers in the Philippines after World War II are seeking Japanese citizenship and filed a petition to this end Wednesday with the Tokyo Family Court, a group supporting them said. Ten others have filed similar petitions with the family court in the past, two of whom

were given citizenship.

Documents from a detention center in the Philippines, where Japanese soldiers and civilian workers were held before being deported, including photos and lists of names, clearly show that the 18 petitioners, including Shigeru Kamiyama, 81, are children of Japanese, said Hiroyuki Kawai, a lawyer who heads the

support group.

After World War II, children of Japanese descent in the Philippines were persecuted because Filipinos had suffered harshly under the Japanese occupation, Kawai said. "They could not go to school and they are now among the poor."

If they acquire citizenship in Japan, their children and

grandchildren can get long-term resident visas and work in Japan, he said.

The group hopes about 800 such descendants will be granted citizenship.

Group slams ruling

BEIJING (AP) An official Chinese lawyer group slammed the Tokyo District Court's ruling rejecting a law-

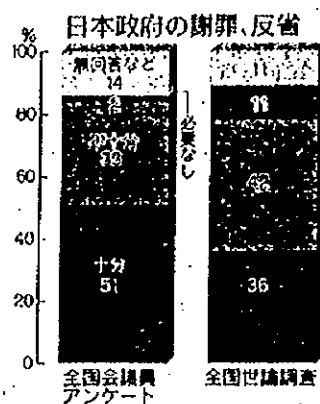
suit by eight Chinese women who were forced to serve as sex slaves for Japanese soldiers during the war, a media report here said Thursday.

The ruling Wednesday by the Tokyo District Court "ignored the nature of the crime," the All China Lawyers Association statement said. "Actually, it did not admit that the forced sex slavery was a crime."

政府謝罪「不十分」42%

軽武装「評価せず」24%

「戦後の歩み」に厳しい目



本誌全国
世論調査
国会議員と意識の差

毎日新聞は、戦後最初の時点、シリーズの発端として、6月中旬の全国世論調査（臨時）に、全国会議員アンケート（6月26日調査）と同じ歴史認識などに関する質問を盛り込み、国民と国會議員の意識を比較した。第1次大戦をめぐる日本政府の謝罪・反省については、「不十分」との回答が42%で、7分の38を上回り、戦前アンケートの「十分」以後、61%、33%との差が広がった。戦後日本の「野武装、経済重視」路線に対しても否定的な数字が相対的に高く、国民が国会議員に比べて「戦後の歩み」を厳しく見ていることが浮かんできた。（2面に関連記事）

出陣資金では、政府の
開戦、対中戦争、東京裁
断罪・反省、輕武裝・經
済復興路線のほか、対米
判への評価など、町項目
について廣義アンケート

と問様の質問をした。

政府の謝罪・反省は①ない——の三者択一で聞かされた②十分だった。③十分だった。④謝罪・反省の必要はない——の三者択一で聞かされた⑤十分だった。⑥十分だった。⑦十分だった。⑧十分だった。⑨十分だった。⑩十分だった。

答は「必要なし」であつた。購買ア
ンケートの「必要なし」
は多かつた。

經武英・經濟關係略論
の質問は「評価する」と
「評価しない」の二選択
。「評価する」と答へた
人は86%で、「評価し
ない」は14%。購買アン
ケートでは「評価する」
が83%、「評価しない」
が17%であつた。

一方、戦時の対応に對

戦後60年の原点

シリーズ 総括

10～13面に特集

た。そのうち「イギリス」が33%、対中戦争で優勢的行為が行われたと認めらるゝ間、この間に「ドイツ」とも意見ない。「イギリス」は最も多く、據地アンケートで88%を占めた。「露國」と同じこととの國富は40%にとどまつた。

樺東亞細亞事變裁判(宣
裁裁判)への評價は「不當な裁判だが、戦争に施された以上、やむを得なかったが59%、「戦争責任者を裁いた正当な裁判」が17%、「戰勝國が一方的に裁いた不当な裁判」が10%で、總論アンケートとほぼ同じ傾向を示した。(中西四郎)

2006.7.3 每日(朝)1面

歷史

勝岡寛次

に際しての「上」される仕組みに
ある。日本は「侵略」されたア
がある。それは「最新本史」以外
の日本、ドイツ、イギリスの後
である。特に中国、韓国の間
免資本主義国はアジアを全体
保存する記述にこの傾向が強く、初
主権体制をとって他国への侵略
来る。朝鮮半島の準備軍が、
による危機感腹に向かい、第次
歴史教育を利用して意図的に養成
世界大戦をおとした行方であり、
されていることが想えられ、引
わねた。これらの必要と首相の
である。今回の機定とは関係ない
じのことと思うが、それは、

「高麗慰安婦問題など日本の優る。日本に『侵略』されたア
ある。それは『最新本史』以外
の日本、ドイツ、イギリスの後
である。特に中国、韓国の間
免資本主義国はアジアを全体
保存する記述にこの傾向が強く、初
主権体制をとって他国への侵略
来る。朝鮮半島の準備軍が、
による危機感腹に向かい、第次
歴史教育を利用して意図的に養成
世界大戦をおした行方であり、
されていることが想えられ、引
わねた。これらの必要と首相の
である。今回の機定とは関係ない
じのことと思うが、それは、

戦前の日本をリヂイズム（人種主義）と云ふ。具体的事例をも少し挙げておこう。清水博院「日本史」は、獨逸でいくら勉強しても大東亞戦争を戦わざるを得なかつた父兄の歴史を理解できない。いや、高橋樞をもたつた日本は、歐戰から20万人以上とする説があるが、参謀を強き批判する中国に対し、日独強すればするほど、日本も實情に對する自覺のもとに近隣諸國（支那、滿洲、朝鮮）に對する同様の態度を示さなければならぬといふ。この點は、高橋生士の腦裏に實現され、獨逸に力をつくさなければならぬといふことがまかり通つてゐるといへば、3月を教えているのが日本以外のど

獨逸神社参拝は、リヂイズム精神が、明治社一黨新日本でもながり強い批判が起つてゐる。唯の例として、これは「八載戦後の理由」に、首相の獨逸参拝を強く批判する中國に對し、

今年はその東京裁判開始から60年、もう二世代も前の古領軍の遺骸の上に日本人はいひついで囃されてゐるのだろうか。

歴史教科書には根本的な書き直しが必須である。

14/34

2006.7.22
産経 3面

右翼の運動の中心のようだと指摘したことがあつた。文相が「使臣の訪英の公使に現代社会に用ゐられる高度の公民」を代表して、大英の政治的法的總實を指示し、倫理、政治経済、教育を順覧して立憲主義的な規定であり、「大英憲法」によって天皇の治を保障の感懐を持つた。

例は明治憲法の採り方だ。ほゞすべての教科書が「天皇制絶対主義」の立場に立ち、「天皇が統治権をもち、天皇の地位は「神聖し不可侵」であつた」という公然の事実をシテ扱ふヘカラス、なされたが、顧みず、鈴木安福の社会主義（天皇主権）、奥野辰蔵、新藤（天皇主権）、其の二教科書による憲法研究会の「現代社会」、天引を絶対的な主権が制憲に影響を与へたかのよう主張者とする絶対主義的色彩の濃い對政治経済の教科書も多量に現れた。この「同」就表現は、これは君主憲法が以前の憲法

八木秀次

だ。特筆を担む教利點もある。
議合制民主主義に反するとの意
見もある」と内くのは相原商店

[illegible]

2006.7.23
唐楷3面

安倍氏、村山談話の根幹判断示さず

歴史認識不明確なまま

安倍首相は7日の記者会見で、歴史認識問題に関連して「(先の)戦争はどのような原因だったか。どのような相対作用があったのか。国策の決定とかかわりがあったのか。そういう問題については歴史家に任せるべきではないか」と語った。95年の村山首相談話を要する考えのないことは再度強調したが、「国策を誤った」など戦争責任に直結する談話の根幹部分について自らの判断を明確にしない姿勢を示したものだ。(藤田直央)

安倍氏は会見で「基本的にその精神を引き継いでいく」と、談話を取り消す明確な決定は行わない考えを強調した。だが談話の中の「植民地支配と侵略」がアジア諸国に損害を与えたという部分については「基本的に歴史家に任せていくべきである」と、詳細を明示しなかった。

談話は歴史認識に関する日本政府の基本姿勢を内外に示したものだ。だが、安倍氏は6日の朝日新聞などのインタビューで談話を自らの政権で踏襲するかどうか明言を避けた。その後、談話の存在は否定しない姿勢を

明らかにしたものの、戦争根幹部分の認識を共有する責任につながる「国策」かどうかはあいまいにのけり。や、植民地支配したままだ。安倍氏の首と侵略」といった談話の相対としての歴史観やアジア

外交に対する不透明感が訪れる可能性がある。

一方、安倍氏は会見で先の戦争について「国民の多くが隆盛の苦しみの中にあり、多くの国々の国民に大きな被害を与えた」としたうえで「そうしたことに對して率直な反省の中で、平和で民主的な国をつくってきたと

村山首相談話 50周年の終戦記念日にあたる95年8月15日、当時の村山首相が社会党委員長との談話として政府が閣議決定した。先の戦争について「わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を

存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えた」と政策決定に傾きがあったことを認めている。「痛切な反省の意」と「心からのお詫(わ)ひの気持ち」も表明している。

「この認識を踏まえて」と「反省」に何及した。ただ、この認識について「事実について申し上げている。歴史認識とは少し違う」と説明した。安倍氏は今年2月の国会審議でも、戦争責任に

についての認識をただす質問に対して「政府が政府の名において、この長い歴史の中で様々な出来事について、裁判所のごとく定めることが果たして適切だろうかと思う」と語っていた。

2006.9.8 朝日 2面

村山談話を葬るな

安倍発言

「わが国は、遠くない過去の時期、国策を誤り、植民地支配と侵略によって、アジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました」

「疑わべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、あらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします」

95年、60回日の終戦記念日に村山内閣が示した首相談話の一節である。

先の大戦が近隣国との間に残したわだかまりを何とか解きほぐしたい。節目の年に政壇を担った村山首相としては、そんな願いを込めたはじめだったろう。

それ以降の歴代内閣では、これが日本政府の歴史認識として内外に定着してきた。戦後半世紀を迎えた日本が、ようやくたどりついた明快な認識であり、国内的にも、近隣国との信頼を築くうえでも重要な役割を果たしてきた。

だが、次の首相の座をほぼ手中にした

安倍晋三官房長官は、この談話がどうもお気に召さないうのである。

きょう告示される自民党総裁選に向けた報道各社のインタビューや、官房長官としての記者会見で「次の政権で村山談話を踏襲するか」と繰り返し返されたが、答えはあいまいだった。

談話に盛り込まれた「植民地支配と侵略」をどう評価するかを聞かれても「歴史家に任せるべきだ」と口を濁した。

「白濁史観」を批判する議員グループで活動してきた安倍氏である。日本の過去の行いを「侵略」と認めたり、詫びたりすることは避けた方がいいかもしれない。よりあいまいな表現の戦後60年国会決議でさえ、安倍氏は採決を欠席した。

だが、あの戦争、とりわけ中国や東南アジアでの戦争が「侵略」だったことは多くの歴史家を含めて、一般の常識ではないのか。中曽根首相以降、侵略を認めなかった首相はいない。

もともとこの談話は、社会党出身の村

山氏の名前が冠されているとはいえ、政府としての公式見解である。自民党も加わった。当時の社会党、新党さきがけとの3党連立内閣で閣議決定された。

それからの日本外交では、歴史認識を示すときの決定版として使われてきた。例えば、98年に小淵首相が金大中大統領と出した日韓共同宣言のベースになったし、中国の江沢民国家主席と交わした共同宣言は直接、村山談話に言及して「遵守する」と表明した。これは国家間の約束だ。

小泉首相も日朝平壤宣言や、昨年のアジア・アフリカ首脳会議での演説など、さまざまな機会にこの認識をなぞってきた。戦後60年の昨年の終戦記念日には、ほぼ同様の首相談話を出した。

こんな基本的なところであいまいな認識しか示せなければ、安倍政権のアジア外交は根本から揺らいでしまう。日本外交が苦勞して積み上げてきた信頼を一気に失うのは明らかだ。

これが安倍氏のいう「主張する外交」なのか。安倍外交が大いに不安だ。

2006.9.8 朝日3面

2006.9.8 読売新聞

「戦争率直に反省 平和な国造った」	安倍氏、歴史認識示す	安倍首相は7日の記者会見で、先の大戦（昭和戦争）に関する歴史認識について「国民の多くが塗炭の苦しみの中にあり、多くの国民の国民に対して大きな被害を与え、傷跡を残した。そうした点に対して（日本は）率直な反省の中で平和的な国を造ってきたとの認識を持っている」との考えを示した。	その上で「戦争についての歴史的な評価は歴史家に任せるべきだ」とした。任せるのも事実だ」と指摘した。
るべき具体的な対象として「戦争（を始めたのは）どういう原因だったから、どういう相互作用があったか、例えば国策の決定とかかわりがあったか」と例示した。	戦後50年の1995年に閣議決定した村山首相談話について「政府の（考えを）内外に対して出したものだ。基本的にその精神を引き継いでいく」と強調した。	一方、先の大戦に関して中国や韓国が謝罪を求めることに對して、「中国や韓国に（日本に対する）刺激的な言葉を言わせようとしているよ」し「まな人々がいるのも事実だ」と指摘した。	

主張



村山談話

正すべきは意を尽くして

自民総裁選を前に、安倍首相は「植民地支配と侵略」の歴史とし、「痛切な反省」と「心からのお詫び」を表明している。旧社会党出身の村山首相、故野坂浩爾官房長官ら一部の閣僚と官邸だけで検討された後、突然閣議に出されたものだ。当時、国会でも「開罪、不戦」を柱とした戦後50年決議が議論されたが、

い。しかし、歴史認識というものは、学問や言論の自由が保障された社会で、よって縛られるものではない。平成6年8月に当時の河野洋平官房長官が出した談話も、同じことが言える。その後、河野談話にある「従軍慰安婦・強制連行」説は破綻したにもかかわらず、それを批判しようとする閣僚の発言を封じてきた。

村山談話は「遠くない過去の一時、国策を誤り」とも言っている。その時期を村山首相は明示しなかったが、そもそも、戦後の一時期の内閣が過去の歴史を一方的に裁いているのか、極めて疑問である。

政府の連綿性から首相談話の見直しは慎重になされなければならないが、正すべきは意を尽くして正すのが政府の責務であろう。

安倍氏は次期政権の課題などを問われた6日のインタビューでは、村山談話に満ちない賛成で可決されたものの、脇にたわらず、新政権として歴史認識を打ち出す可能性を示唆したが、7日の会見では「政権が変わるたびに、いちいち談話は必要はないのではない」と、村山談話だったという。かとも述べた。村山談話に対する安倍氏の微妙な思いがうかがえる。

村山談話は旧社会党時代の1年前、後の歴代内閣の歴史認識を縛ってきたの8月15日に発表された。日本の過去

2006.9.8 産経 2面

きよう告示 20日投開票

論争 06 総裁選

小泉純一郎首相の後継を決める自民党総裁選は、8月1日告示される。立候補の届け出は午前中に締め切られ、20人の推薦人を確保した候補が立候補できる。麻生太郎外相、谷垣禎一財務相の3人が届け出る。その後3人は記者会見に臨み、政策理想などを発表して12日間の選挙戦がスタートする。

■自民党総裁選の日程

8日(金)	告示、立候補受け付け 総裁候補記者会見
9日(土)	所見発表演説会 街頭演説会(東京・秋葉原)
11日(月)	日本記者クラブ主催の公開討論会
13日(水)	街頭演説会(札幌市、大阪府茨木市)
14日(木)	読者年周主催の公開討論会 街頭演説会(神奈川県厚木市)
15日(金)	21世紀協議主催の公開討論会
17日(日)	街頭演説会(鹿児島市)
19日(火)	党員投票締め切り
20日(水)	国会議員投票、党員・議員票開票 両院議員総会で新総裁選出

投票によって20日に決定。臨時国会が召集される26日に新首相が選出される。300議席の衆議院で決まる。これまで安倍氏に有利な結果が示されている。



記者会見で歴史認識などについて説明する安倍首相(菅原良彦撮影)

安倍氏持論封印の苦しみ

氏は「美しい国」を掲げ「日本の底力」と銘打った構想を断る各派氏は、憲法改正も教育基本法も「活力ある高齢社会の消費税率10%への引き上げ」も「アベノミクス」も実現や地域間格差の是正「ひな」などを打ち出している。選挙をにらみ、麻生氏を擁護してきた。「絆」を掲げる。

村山談話からの脱皮

自民党総裁選に立候補した安倍首相は、新総裁発足後に、安倍氏が示す姿勢によって、先の大戦の「歴史認識」に決着する。村山談話に決着を付ける。安倍氏は6月の報道各社のインタビューで、先のインタビューで、先の大戦を「国策を誤り」たことと評した平成7年の村山談話に対して、「決定的にどうもいえない」という立場を示した。安倍氏は、村山談話の「決定的にどうもいえない」という立場を示した。安倍氏は、村山談話の「決定的にどうもいえない」という立場を示した。

イアや近隣諸国がこれに同調、謝罪するところまで過剰反応しかねない。村山談話を懐疑しつつある。断し、7日の記者会見で、今のパターンを断る切っ掛けは、「海外に対する連帯」が必要だ」と、主張した。その中で次の政権もあてがったが、就任以降、村山談話から脱皮しない立派な。日本の歴代政権が中韓との間で歴史問題がこじれたら、多くの国民が憤慨の情し、じれるたびに村山談話を持ち出して収拾を圖って来た。麻生政権発足の中、きだことについて、安倍氏が7日の記者会見で、「そのとき、きだの政府の判断だ」といまいに答えた。安倍氏周辺が、村山談話の懐疑にどうもいえない。安倍氏は、村山談話の「決定的にどうもいえない」という立場を示した。安倍氏は、村山談話の「決定的にどうもいえない」という立場を示した。

006. 9. 8
巻経 3面

安倍、案の定

文科相に『慰安婦妄言』を吐いた農水相を起用説

官房幹部の政治任用を推進・・・総理室の力強化

「強い首相」「強い国家」を志向する日本の安倍晋三次期首相の構想が次第に明るみに出てきている。構造改革問題に集中するあまり、小泉首相が在任中に法制化できなかった案件などを早急に実現しようとしている。

◆歴史問題には強硬な姿勢?

日本のメディアは26日に就任する安倍次期首相が、文部科学相に中川昭一現農林水産相を起用する可能性があるとして報道した。文部科学相は安倍次期首相が重視する「愛国心教育」を担うポストとなる。必然的に歴史教育問題が大きくクローズアップされる。

中川農水相は安倍次期首相に近い歴史観で知られる。1997年、安倍次期首相とともに扶桑社版の歴史歪曲教科書を事実上支持する「日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会」を結成し、1998年には従軍慰安婦問題について「強制連行があったかなかったかは分からない。中学校教科書にこの問題が記述されたのも疑問」と妄言を発している人物だ。

農林水産相としても「太った将軍（金正日を指す）の腹を肥やすための食糧はコメ一粒もやらない」と発言する程、安倍の北朝鮮親に近い。

◆ホワイトハウスを手本に首相官邸機能を強化

日本で韓国の大統領秘書室に当たるのが「内閣官房」だ。官房長官の執務室は首相官邸の6階に位置する。主要政策の企画・立案、総合調整、情報収集の3点が主要業務だ。

日本のメディアの報道によると、安倍次期首相はこのうち政策企画・立案を担当する参事官級（内閣の課長級）以上の幹部を「政治任用」できるようにする法改正案を来年にも国会に提出する考えだという。これは米国のホワイトハウスに見られる、意見の合った人物を起用することに重点を置いた方式だ。

これまで内閣官房の幹部は各省庁から選拔され、任期が終わればまた出身省庁に帰るのが慣例だった。これら幹部は官僚の圧力に左右される習性があり、「霞が関のスパイ」とやゆされることが多かった。

政治任用は、首相官邸の独立性をホワイトハウスのように高めることを目的としている。これとともに、首相直属の補佐官5人に官房に対する指示・命令権限を付与することも法改正案に含めることにした。

◆増税より減税

読売新聞の報道によると、安倍次期首相は企業が納める法人税を引き下げる方針だとい
う。

現在、日本では急増する社会保障費用を確保するため、増税が必要だとする声強い。
こうした中で安倍次期首相は企業の減価償却を調整する方式で年間6000億円規模の法人税
を減免する案を打ち出した。

「官邸重視」だけでなく、「企業重視」もやはり小泉首相の路線を踏襲するものだ。小泉
首相は税制改正を通して、在任期間中に法人税1兆4000億円を減免している。

安倍次期首相は「実質成長率3%」を公約に掲げ、「成長」を経済政策の最優先課題とし
ている。／東京＝鮮于鉦特派員

(朝鮮日報 '06年9月25日 国際面)

아베, 아니나 다를까

문부상에 '위안부 망언'한 농림장관 기용설
관방간부 정치임용 추진... 총리실 힘 강화

· '강한 총리' '강한 국가'를 지향하는 아베
신조(安倍晋三) 차기 일본 총리의 구상이 골
격을 드러내고 있다. 고이즈미 전 총리가 재
임 당시 추구했으나 구조개혁 문제로 밀려 한
차례의 총을 유보했던, 과제를 일찌감치 현실화
하려는 움직임이다.

◆역사문제 조감수?

일본 언론은 26일 위안하는 아베 차기 총
리가 문부과학성에 나가가와 쇼이치(中川昭
一) 현 농림수산장관을 기용할 가능성이 있
다고 보도했다. 문부과학성은 아베가 추진하
는 '역국심 교육'을 담당하는 자리. 필연적
으로 역사 교육 문제를 다루게 된다.

나가가와와는 역사관이 아베 차기 총리와
 유사하다. 1997년 아베 차기 총리와 함께 무소
 사(無所属) 의원 역사교과서를 사실상 지지
 하는 '일본의 앞날과 역사교육을 생각하는
 젊은 의원들의 모임'을 결성하고, 1998년에
 일본군 위안부에 대해 "강제연행이 있었는

지 않았는지 알 수 없다. 중학교 교과서에 이
 문서가 기술된 것도 의문"이라고 망언(妄言)
 한 인물. 농림수산장관으로서 '살인 장군'(殺
 人將軍)을 지칭)을 배분하기 위해선 할 한볼도
 줄 수 없다"고 발언할 만큼, 아베의 복한관
 을 빼앗았다.

◆'백인관'형 총리관저

일본에서 대통령 비서실 기능을 하는 곳은
 '내각 관방(官房)'. 관방장관 직무실이 총리
 관저 5층에 있다. 주요 정책의 기획·인안, 총
 합조정, 정보수집 3가지가 주요 업무다.

아베 차기 총리는 이 중 정책 기획·인안을
 담당하는 참서관급(084의 과장급) 이상 관
 부를 '정치 임용(政治任用)'할 수 있도록 하
 는 법 개정안을 내년 국회에 제출하기로 했
 다고 일본 언론에 보도했다. 이는 뜻이 맞는
 사람을 기용하는 미국 백악관식 인사.

지금까지 관방 간부는 내각에서 선발돼
 임기가 끝나면 다시 내각으로 돌아가는 것

이 관례였다. 이들은 관료의 입력에 따라 움직이는 속성을 보여 '기쓰마가사키(内閣)이
 집중해 있는 지역의 스파이'란 예기를 들
 어왔다. 정치 임용은 백악관처럼 총리 관저
 의 독립적인 힘을 강화하는 것이 목적이다.
 이와 함께 총리 직속·보좌관 6명에게 관방
 에 대한 지시·명령 권한을 부여하는 것도 법
 개정안에 넣기로 했다.

◆중세보다 감세(減税)

아베 차기 총리는 기업이 내는 법인세를 쫓
 이 줄 방침이라고 요미우리 신문은 보도했다.
 현재 일본에선 급증하는 사회보장 비용 마련
 을 위해 세금을 인상해야 한다는 주장이 강
 하다. 이런 가운데 아베 차기 총리는 기업의
 감가상각을 조정하는 방식으로 연간 6000억
 원 규모의 법인세를 감면하는 방안을 내놓은
 것이다.

'편자 중사'와 마찬가지로 '기업 중사' 역
 시 고이즈미의 정책. 고이즈미 총리는 세제
 개정을 통해 재임 기간 동안 법인세 1조4000
 억원을 감면했다. 아베 차기 총리는 '연간 실
 질 3% 성장 공약'을 내놓아 '성장'을 경제
 정책의 1순위로 올려놓고 있다.

도쿄·신우정국(東京) 신우정국(東京) 신우정국(東京)

安倍氏の歴史認識を批判

ワシントン・ポスト社説

【ワシントン共同】25日付の米紙ワ

シントン・ポストは、日本の新首相は

「歴史に対して誠実でなければならな

い」とする社説を掲載し、新首相に就

任する自民党の安倍晋三総裁の歴史認

識に警戒感を示した。

社説は、安倍氏が日本の「植民地支

配と侵略」に言及した85年の村山宣市

首相談話を踏襲せず、第二次大戦後、

連合国が日本の戦争責任を載せた極東

軍事裁判（東京裁判）に疑義を呈して

きたと指摘。「過去に関する言い逃れ

では小泉純一郎首相を上回る」とした。

その上で、安倍氏に対し「現在の政

策は過去への過激な試みさに度々ちが

れていないと批判する必要があるが

ある」とくまを刺した。

2006.9.26 毎日(朝)3面

歴史認識

あいまいさに逃げ込むな

安倍首相は、戦後生まれの初めての首相である。若い首相に清新な政治を期待して、世論の支持は高い。

だが、戦争体験がないから過去の戦争について歴史認識を問われにくい、ということにはならない。

自民党総裁選では村山談話や侵

略戦争の認識が焦点になった。安倍首相は「(歴史認識は)後世の歴史家に委ねる」と言い、正面から答えなかった。

この言い方はいささかピンと外れている。歴史家に委ねるのは、政治家の歴史認識が正しかったかどうかの判断であって、政治家は歴史認識を他人に委ねることなど

ての美徳である。だが、広く意見を求めれば自分の考えがあいまいであっていいわけではない。

首相は所信表明演説のなかで、消費税については「逃げる、逃げ込まず」と語ったのに、歴史認識の問題になると「あいまい戦略」で逃げ、あいまいさのなかに逃げ込むとしている。

いま目の前にはアジア外交の再構築という重要な課題がある。中国、韓国との首脳会談ができないという異常事態は困る、と米國からも迫られている。解決の力基は靖国神社参拜問題である。

首相は、官房長官時代に小泉純一郎前首相の靖国参拜を支持し、さらにA級戦犯の戦争責任を認めなかった。4月にはひそかに参拜したが、「行くとも行かないとも言わない」というあいまい戦略をとった。

中国も首脳会談の再開を希望してきた。が、首相在任中に靖国神社を参拜するなら会談に応じられないという立場は変えていない。

所信表明の中で首相は「日中相互の努力」と述べた。日本は、参拜するともしないとも言わない、中国は、事前に参拜しないという約束なしに会談再開に応じてもらいたいというのが「相互の努力」のようだ。

安倍首相は訪中、訪韓を急いでいる。両国との信頼関係を築くことが重要だ。首相は、中国が対日戦争賠償を放棄したさいに「一握りの軍国主義者」と「戦争に動員された国民」を区別した問題について、「そんな文書はない」と突き放したことがある。文書がなければ約束はないのなら、中国は「参拜しない」という文書を求めるだろう。外交は柔軟であるべきだ。首相が日中関係を再構築するつもりなら、以前の状態に戻って、在任中の靖国参拜は凍結すべきだ。靖国神社に行くつもりなら、はっきり言うべきだ。今の日中関係は、過去に積み重ねた外交努力の上にある。あいまい戦略の先には、逃げ道はない。

2006. 10. 2 毎日(朝) 5面

莫邦富
ジョーナリス



こと数回、小泉首相の靖国参拜問題について、私に取材に来る日本のメディア関係者が増えた。そうした人々に私は必ず「大岡昇平の『野火』」を薦めたことがありますか」と尋ねることにしている。

しかし、薦めたという人は残念ながら、これまで一人もない。先日、やって来た東京の随生たちにも聞いてみた

が、全員、首を横に振った。に、日本軍は惨めな敗北を喫し、をひき立つ降となり、高く船り際、一人は私に確認した。「野火」はレイテ島の評価されている。私は「野火」を「オースカシヨウヘ」と山中を逃げ惑う日本軍の敗戦、火」の後、大岡文学に夢中という人は中国人ですか」と。兵を描いている。極度の飢え、なり、「浮城記」や「レイテ70年代後半から80年代半ば」と極端な酷った日本兵は人「戦記」を薦めた。にかけて上海外国語大学で教肉食いに走った。戦争の悲惨、数年前、中国黒龍江省の農村をどうしていた私は、日本文さと非人道性を「兵卒の視点」村を訪れ、畑の真ん中の小さな上饅頭に案内されたことが学をむさばるように腕み、多から暴いた名作だ。

「野火」を読みましたか

ていのは聞
拒に来た日本
人という。手

くの日本人作家の世界に没頭し、台築された大岡はフイリビを合わせると、なぜか「レイテ」のミンドロ島に派遣され、テ島の山中を彷徨する日本兵捕虜となり、レイテ島の収容の姿が頭に浮かんだ。所に送られた。そこで聞いた心に刻むべき歴史が忘れられるなかで、政治家が靖国参拜に走る。戦争と平和を考えるべき8月が戦争美化の季節的な軍事力をもつ米軍を相手、大岡の文学は戦後文学の山脈になりつつある。

2006. 8. 19

芋子の木あひぢやんの口調で悠の父親と
いふので、下宿生は驚かされた。木
あひぢやんは、一階の廊下で、
「さん、悠が、一階の廊下で、ありはる度
段々として性的發育の事案を前に頼んで
するよ、斯うなとへの反應があらうてい
る。悠に對する其處の所が苛まれる。一方、彼
道を通つて作付卵が、を飼ひ飼で居る市田
の腹に、あつた必死性を前にも、驚かして出ている。」

【第六十回、空想物語】

いたてとを明らかにし、「おれは、
の命が多くの人の命を助けている
と思うと、死は死ぬべきではな
くと感じている」と話した。

さらに「私は世界に一人しかい
ない、かけがえのない木下おれ
り。積極的に死にはしないが、
名節と正義が邪魔なら、
押しつぶさるのなら、
出ても構わない」と実名を
報道を容認した。雑誌が被害者
姓名を公表する傾向については「事
柄にはいろいろなケースがある。
満鉄の意図を特定して報道される
べきだと思う」と話した。

【越中拓哉】

いから被害者が増えるのではない
か。性的被害の事実を露け出して
もらい、なぜ死刑が求刑されたか
を伝えてほしい」「性的被害は同
時に悔しい。犯人は二度命を奪っ
た」と訴えた。

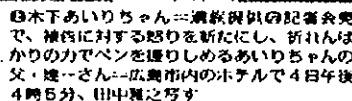
容を報じた。各紙ともほぼ同様の内容であった。今日4日、平牛橋西に無期懲役を言い渡した広島地裁判決の後、境一さんは会見。性被害被害者から多くの手紙が寄せられ、犯罪を見て自殺を願いとどまった人も

比一さんは今年1月ごろ、妻から「夢の中で（あいりちゃんに）『私みたいに性的暴行を受けて苦しんでいる人がたくさんいるんだよ。助けをあげて』と頼まれた」と聞かされた。事件直後、現場の献花台に飾られていた花犯被害者の手紙を読み「つらい思いをしている人へ、神にもいるんだ」

と感じていた。

6月8日、検察側はホセ・マヌエル・トレス・ヤ平被指(34)に死刑を求刑した。新聞各紙は、法廷で朗読された性的暴行の詳記は掲載しなかった。(初次も同様の記

父の訴えに共感と戸惑い



天國の天使さん、さし送された。犯人は主
わ奴さん、あやふさうに死つかっていない。
と語つてゐると思ふ。

○犯罪被害者家族の会
「半平の会」の小林邦一さんと隣名では偶然にな
り親交した。木下さんに手紙を送った。立派な生
だつた。娘の満さん(当)。「被害が具体的に明
時分は、昭和十一年、上野からかなくなつてこゝろ、犯罪
は昭和十一年、上野からかなくなつてこゝろ、犯罪

女性犯罪の被害者は詳細な報道が与えられるべきで
はないかという大きな問
題を提起した。

○少年犯罪防衛同盟者の会
この年、東京府警本部から「少年犯罪防衛同盟者の会」の改訂の代表として、主催に就かれた。全
国に展開された。全
国犯罪被害者の会の地位は、
関係事務は別の地方を委託す。

を総務課長(佐々木)
てほしい)、社会も真剣に
に受け止めるべきだと考へ

00年以降の香山警察本部から

[illegible]

偏見に苦しむ被害者

名姓を隠蔽して初めて、
 一掃を打ち明けてもらへ
 る」と名附くを年時、住居
 は尋ねられ、近郊の女
 性は「家裏にまで好む
 人が向けられるのではと
 思うと、美名は六宮を
 ない。社会が鬱悶を感
 ない」と、治罪者は憤慨を
 訴えられ、性理は随
 に堪もれたままになる
 と訴えた。

【中絶代】

[illegible]

具体性避ける報道の負の面突いた

[illegible]

男女共同参画や女性の地位向上のための施策となる公共施設が創設されている。自治体の施設の管理運営を民間に開放する措置は、民間参画の導入、効率化を促しているからだ。

「男女共同参画センター」などの名称を持つ公共施設は、女性を主な対象に、生涯学習や相談などを通じて知識や社会への参加意欲を促し、様々な問題解決にも一定の役割を果たしている。その一方で、地域のグループの交通機関、公園内が閉鎖時代遅れ、などの批判があったのも事実だ。

たしかに「女性学」「フェミニズム」など、この種の施設にふくまれるテーマは、重要ではあるが一般の関心は得にくい。職能を求めずにはおらず、これまで

は生涯学習で勉強好きの利用者に助けられ、工夫の多い施設が創設されてきた。しかし、民間でも最低限の人は集まったものの、効果やサービスといった観念は施設の目的になじまないとの見方も強かった。

だが、年間何千万もの経費がかかる施設が、ガラクタだったり、地域住民の多くにとって食糧の動かないものだったりでは、施設者は納得しない。ある県の男女共同参画センターの二〇〇四年度の利用率は、五百人収容のホールが一七％、六つある会議室が二一％だった。

〇三年の地方自治法の改正で生まれた指定管理者制度は、ム

中外時評



女のハコモノ「長が生がせ

観念論より役立つ企画を

論説委員 中村 幸子

タや使い勝手の悪さが目立った地方行政のサービス向上とコスト削減を狙ったもの。各自治体は従来、財源などの地方外郭団体に委託していた公共施設の管理・運営を、自治体直営で行うか、新たに指定する管理者に委

数カ所ともいわれ、公共施設のセクターや会館をみると、「民」の参入ははばかしくない。国立女性教育会館の例では、〇六年四月時点で制度を導入している六十施設のうち、企業の参入例が五カ所、NPOが十三カ

所（二部）だった。大半は導入前に委託していた外郭団体がそのまま管理者に衣替えしたもので、「公設民営」と称するものの、実際は「公設」の時点で人件費・事業費の合計額を年間二千万から千六百万円に削減した。事業内容も役

に立つ「面白い」を目指し、女性の視点を生かした防災・災害復興プロジェクトなど地域特性を生かした企画力を入れる。企業の参入例では、ビル管理会社が施設管理に当たるとして、会館が施設管理に当たるとして、電力のグループ企業による共同企業体が事業の運営まで手掛ける川崎市男女共同参画センターは例外的存在だ。いずれは育児休業を取得した女性のネットワーク化も、旧来の枠にとら

観でなく、女性の就業や子育て支援といった時代の要請に即する実践的な事業が欠かせない。財団の運営ながら男女共同参画センター構想のように、過去二十年間、再就職支援に力を入れた、受給者の九割近くが職を得るなど高い評価を得た施設もある。こうした目に見える結果を一定の契約期間中にどう出すか、新規参入者の真価が問われる。施設の活性化には組織の刷新も必要だ。女性局の中には女性政策の担当部署のほか労働局や教育委員会が設置するものもあり、すみ分けに苦労する例は多い。かつて施設の整理・統合を試みたが、役所内での抵抗が強く、断念した自治体もあった。効率化の作業は民間に丸投げでは困る。

心理職配置は3分の2

婦人相談所 一時保護所 DVケアに遅れ

自治体調査

ドメスティックバイオレンス(DV)で被害女性が増え、婦人相談所の一時保護所で、心理職の専任配置を実現できている例が都道府県の約三分の二にとどまっていることが十九日、分かった。保護後の母子の

心理的ケアなど、その役割に期待が高まっている。婦人相談所は全都道府県にあるが、同省によると、同制度を活用したのは昨年度、四十七施設のうち三十一施設にとどまっている。

配置が遅れている理由について、ある自治体は「財政事情が厳しく、予算確保が後回しになって

いる」と説明する。同省は「もっと制度を活用して心理的ケアを行う態勢を整えてほしい」と、家庭福祉課としている。

昨年度、婦人相談所で一時保護された女性は計六千四百四十九人。「夫などの暴力」を理由とする保護は約七割を占め、増加傾向。また、被害者が連れていた家族は五千八百八十五人に上り、〇一年度比べて約一・七倍に急増。そのほとんどは子どもだ。

被害者は、心的外傷後ストレス障害(PTSD)などを抱えることが多く、保護後から、母子関係の再建などDVによる心の傷を修復する重要性が指摘されており、母親だけでなく、子どもの心理的ケアに果たす心理職の役割が期待されている。

一方で、退所後は母子生活支援施設に入る場合などを除き、被害者が心理的ケアを継続して受けられる公的サポートは少なく、自立支援の課題として指摘されている。こうした実態を踏まえ、同省研究班は〇七年度までに、心理的なケアを含めたDV被害の母子支援プログラムを作成する予定で、同省はこれをもとに支援策を検討する。

2006. 7. 19 棘

起訴状

被害者名伏せ朗読

性犯罪など対象、法整備へ

法務省は7日、犯罪被害者保護の二環として性犯罪などの刑事裁判で、被害者の名前や住所がわからないようにする制度を導入する方針を固めた。刑事裁判で行われる検察官による起訴状朗読で、被害者の具体的な名前や住所を伏せることを制度的に認める。被害者のプライバシーを保護することで、被害者が刑事手続きに協力しやすくする狙いもある。同省は来年の通常国会に刑事訴訟法改正案などを提出する方針だ。

刑事訴訟法は、裁判の手続きや、刑事裁判で審明を定めている。起訴状として、起訴状を朗読の対象となる犯罪事実の

明示を定めている。起訴状には被害者の氏名が明記されており、公開の法廷で起訴状を朗読することで、被害者が特定されている。ただ、現行法下でも、起訴状朗読で、被害者名を「被害

者△子」などと仮名にして伏せる事例もある。被告人、

弁護人、検察官、裁判官の調整している。すべてが同意した場合に限り、裁判の運用として実施している。

今回の改正は、こうした運用を制度化することで、被害者保護の施策として明確化するものだ。被告人などが同意しなくても、裁判官の判断で名前などを伏せることを可能とする方向で

人に対し、被害者情報を被断している。

暮らしの中の 宗教

女性の駆け込み寺 静岡県・サンガ天城

これまでも約480人が生
きる氣力を取り戻した。
患子の藥力から逃げて
きた大野園子さんの(62)「
仮名」も、その一人。大
野さんの長男(32)は仕事



に墮ちられていく。静岡県のシンガ天城で

3年前、隠されて唇内出血となり、3カ月間も入院。福岡県立を退くが、昆明の劉伯はやまず、今年6月、サンカ天城に運び込まれた時の事も「覚えていない」という。2カ月余の滞在して、かな寺神奈川県鎌倉市など

電話相談してきた女性だ。生きている窮みを失い、
が、往轍の「大丈夫よ」列車に飛び込むとした
の二重で、安心して自宅瞬間、目の前の線路に女
にとどまったこともあつ性飛び込み、列車には
だ。それは自殺を考えたわられた。その無残な姿
ほどづらひ経験をした戸を見て自殺を思いやしま
つたという。

「人のためにやっている」とは、仏様のお心にかたごころだから。先離僧侶の高業を胸に、たった一人の實踐は続く。

＊ ＊ ＊

若いかけこめる夫らから女性を守るため、寺の住所は非公開。連絡先は東京連絡所（会03・37

のでできる『愚歌』でもあった。臼澤住職は高校教師と結婚したが、70年に33歳で二男を出産した。2日後、夫が交通事故死した。当時、臼澤住職は通っていた教会で、「あなた

この企画へのご意見、ご感想は〒100-8051(住所不要)毎日新聞生活家庭部「暮らしの中の宗教」係へ。メールは表題を「暮らしの中の宗教」として、t.seikatsu@mbx.mainichi.co.jpにお願いします。

福井での「焚書」事件が波紋を広げている。同県「男女共同参画」に対し、全国で広がるバックラッシュ（巻き返し）の一例だが、女性団体などは一段と危機感を募らせている。

福井で上野千鶴子氏らの著作撤去

「焚書」広まる危機感

圧力に委縮の行政対応二転三転

この発端は福井県生活文化学習館から排除する人合長で「県庁外」からの学術館がことし三月、県の男女共同参画推進員（計二十八人）の一人である男性会社員（この要求で、会社員の仕事がリストに基づき、撤去から百五十冊を撤去したことにさかのぼる。事態に気づいた県内外の女性議員らが抗議すると、同館は五月に書籍を戻した。一時撤去された本の著者はリストの詳細について情報公開請求したが、県は非公開に。提訴の機ををみせると、県は一転、今月十一日に公開した。



ジェンダー関連本などが一時撤去された福井県生活文化学習館の図書コーナー（福井市で）

「内容が過激で不適切」とみなし、「焚書」リストを作成したこの会社員は「家族や夫婦の関係を軽視し、シングルマザーや離婚を肯定する本が多くあった。中高生も来る公共施設にふさわしくない」とリスト提出の理由を説明する。男性は推進員になった時からこの問題に熱心で、昨年十二月「不適切な図書」をジェンダー関連本などが一時撤去された福井県生活文化学習館の図書コーナー（福井市で）

「底流に国家統制回帰」男女共同参画加速

用が取り消されている。「深く考えず、まずい対応」福井での件で、ある県職員は「会社員からの再三の撤去要求に担当課が首を上げ、影響を深く考えず（撤去要求に）応じてしまった。まずい対応だった」と内情を明かしている。一方、当の上野氏は今月六日、大阪府立女性総合センターで開かれた「福井・ジェンダー関連図書撤去事件」緊急集会で「考えが狭いに入らん、議論で戦えばええやないですか」と関西で怒りをぶつけた。この集会でも、自治体の男女共同参画関係者たちが「講師選別に本庁部長の許可が必要になった」「女性優遇はおかしいと議事から圧力がかった」と口々に現状を憂慮。底流には「国家と家族を尊ぶ」という、国家統制回帰の流れがある」と指摘する声が上がった。福井県は「焚書」リストを最終的に公開したが、請求した女性団体などは収まらず、同県に抗議文と公開質問状を出している。

幼児から高齢者…膨大な被害者

長年、紛争が繰り返されてきた「紛争の被害」も、このように被害者が膨大に増えている。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、紛争の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。

(1) 内戦の被害者(2) 紛争の被害者(3) 紛争の被害者

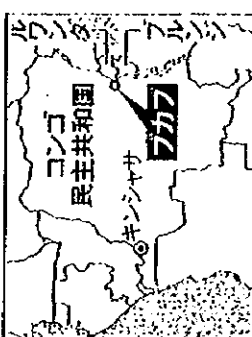
性暴力 深い傷跡

「性暴力は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、性暴力の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「性暴力は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、性暴力の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

内戦のコンゴ民主共和国、救済進まず

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」



「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」

「内戦の被害者」は、紛争の被害者にとって、最も深刻な被害の一つである。特に、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。このように、内戦の被害は、幼児から高齢者まで、膨大な被害者が犠牲になっている。」



ルダハ村の集会所で、我が子を抱いて「早く平和を」と訴えるレイアの被害者たち

性暴力と戦争犯罪 紛争時の内戦は、2001年、旧エニアスラビア戦争犯罪国際法廷(オランダ・ハーグ)で、初めて「人道に対する罪」として認定された。紛争時の可成り多くの人が、人道に対する罪として認定された。アフリカ大陸では、紛争時の可成り多くの人が、人道に対する罪として認定された。アフリカ大陸では、紛争時の可成り多くの人が、人道に対する罪として認定された。

高校生など若い恋人同士の間で起
きる暴力(デートDV)ドメスティ
ックバイオレンスの防止教育ビデ
オを、市民団体が制作した。高校や
大学などで広く活用してもらうこと
が目的。来月4日には東京都内で一
般向けの完成試写会も行われる。

「何で男とメールしてるんだよ」と勝手に受信
メールを見ることも「暴力」だ(ビデオより)



若い恋人の暴力「デートDV」 傷つく前に

防止ビデオ

「デートDV」相手を脅威
する関係をつくる」と題した
ビデオを制作したのは、DV
防止の啓発活動をしている市
民団体「アウェア」(東京)。
30分のビデオでは、再犯下
ラマを通して、デートDVと
は何かや、その原因を分かり

やすく紹介している。
交際1か月という高校2年
生のアヤとヒロが主人公。ヒ
ロはアヤの携帯電話を取り上
げ、アルバイト先の男性店長
と仕事でやり取りしたメール
を発見して激怒。アヤは休日
のアルバイトをキャンセル

し、ヒロの自宅で
ボルノ映画を見せ
られる。そこで、
セックスを強要さ
れ、拒否したとこ
ろ突き飛ばされる
——というストー
リーだ。

ビデオでは、D
Vには①身体的暴
力②精神的暴力
(予定を勝手に決
める、メールを消す)③性的
暴力(セックスの強要、嫌が
るのにボルノを見せる)④経
済的暴力(収入源を奪う)が
含まれることを伝えている。
このような暴力が起きる背
景として、インターネットや
雑誌などに暴力があふれ、男

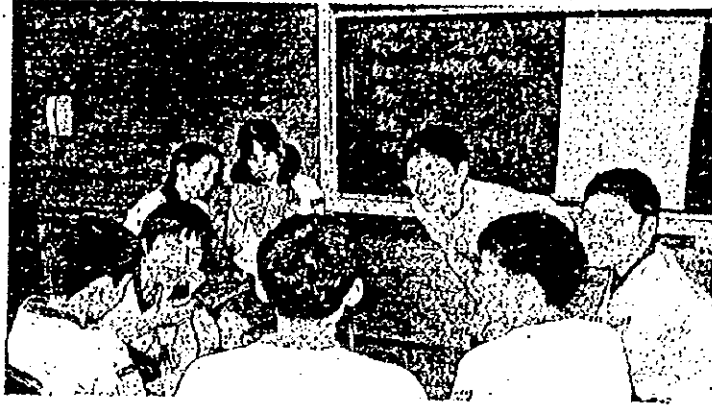
は強くて女をリードしなけれ
ばならない」「女は目覚める」
という主従関係にいつの間
にか慣れてしまっていることな
どがあるという。

内閣府は今年4月、「交際
相手からの被害経験」につい
て初の調査結果を発表。男
女とも若年層ほどDVの被害
経験があり、特に女性の
20代では22・8%があった
と答えた。アウェアの山口の
り子さんは「暴力をなくす
には、10代のうちから、パー
トナーを尊重する気持ちを
はぐくむことが大切」と話
す。

DVDもあり、共に2万6
500円(送料別)。中学や
高校、大学の授業や、各地の
男女共同参画センターなどで
活用してほしいという。

一般向け完成試写会が10月
4日午後6時30分から、東京
・渋谷の東京ウィメンズプラ
ザで開かれる。参加無料。問
い合わせは、アウェア(03・
3362・5500)。

SEAプログラムを受ける中学生ら（福井県越前市で）



学んで防ぐ「デートDV」

中高生対象に特別授業

NPOがプログラム開発

若い恋人同士の間で起きる暴力「デートDV」（ドメスティック・バイオレンス）に防止教育の試みが中学・高校を中心に広がっている。少年が加害者となる事件が相次いでいることを受け、子供を被害者にも加害者にもしないための取り組みだ。

先輩に習いがかりをつけ、人「SEA」に2002年、殴られた男子生徒。年に関係した、社会的性差帰宅すると「やられたらや」と暴力に関する人権教育プログラム「SEA」が生徒たちの前で、ロールプレー（役割演技）をでに大阪府、兵庫県、福井県などの小中高校計25校に分かれたら、どうする？」というテーマで実施した。年大阪府高槻市のNPO法人「SEA」が中心となって3タイプあり、

中高生版ではグループに分かれ、男女別に「期待されること」を、模造紙に書き出すことから始まる。男性なら「負けない・め

そのせしない」、女性なら「行儀よく・優しく」などが多い。男性に求められがちな強さが暴力につながったり、女性に求められがちな優しさが服従につながったりして、それがDVなどの暴力行為に結びつくこともある。プログラムはこうした点を是正し、自分も他人も尊重する大切さを学ぶ。授業を受けた生徒たちからは「僕は強さと優しさは別なものだと思っていたけれど、同じことなんだ」などの感想が寄せられた。同法人代表の遠矢家永子さんは「人としての強さや優しさを身につけることが、非暴力教育につながる」と言う。行政が主体となつて、高

紹介する。自分や友人が被害に遭ったらどんな行動を取るかを、生徒同士で話し合う。

こうした教育の広がりの背景には、DVの被害が若年層に広がっていることがある。特に、加害者となるのは男性が多い。内閣府の調査によると、20代女性の2割強が「被害に遭った」と答えている。

暴力防止教育について、家族病理に詳しい立命館大の中村正教授（社会心理学）は「恋人や夫婦など親密な関係の中で生まれるしつとやけえ、依存などの感情を処理する時、暴力が使われやすい。対人関係のルールや作法、距離の取り方など、葛藤を解決するための方法を伝える教育は有効だ」と話している。（近藤明彦子）

時代の証人

漁師の子として生まれ、社会党（現社民党）出身として戦後、人々の首魁になった村山富市。首相任命中は、阪神大震災やオウム真理教事件などの激動にも見舞われた。波乱万丈の軌跡を振り返ってもらった。

解説部 笹森春樹

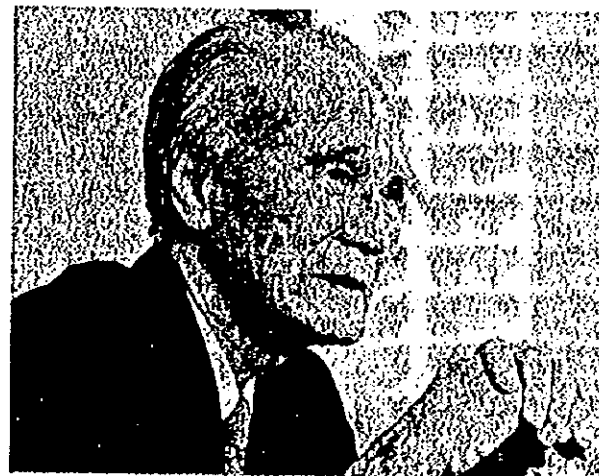
僕は1人兄弟姉妹の六男で、大分市の浜町という漁師町で育ちました。産めよ殖めよの時代ですが、お袋もよく産んだまま、3番目の兄は、僕が生れる前に死んでいます。

お袋は漁師をしながら鮮魚商をしていた。近所でも評判の

社会党 村山 富市 82 回

正直者だったな。

母屋（本家）が網元で、うちが分家だった。網元には引き手が15、16人くらいおったかな。イリコというのを知ったかな。煮干しのことね。小イワシが、別府湾に回遊して来る。それを2隻の網船で囲って、袋に追い込んで捕る。それを小屋に運び、火をたいて煮でゆでる。



1924年（大正13年）、大分市生まれ。元首相、元社会党委員長。明治大専門部卒業後、地元で漁村民主化や労働運動に取り組む。大分市議、大分県議を経て衆院議員。2000年に政界引退。現在、アジア女性基金理事長、日朝国交促進国民協会会長。

11人兄弟の六男 生活には苦勞

ゆでたのを大目に干し、煮干しができあがった。それから、お袋が煮干しというものをし

僕ら子供も、ゆでたイワシを干したり、雨が降ったら取り込んで干して手伝った。

僕ら子供も、ゆでたイワシを干したり、雨が降ったら取り込んで干して手伝った。

の漁を計算して金を分けるわけだ。僕ら子供はそこに寄って、お袋の金に寄って行った。

それが楽しかった。

僕はお袋と一緒に、コメの集金に行ったことがあるけど、みんな貧乏で払えない。「益と害れしか集金に来ないから、金がない」と嫌な話も聞かされた。だいたい漁師というのは、背越しの金は持たないような性格。食べ物で自分も補っているから、あまり現金なんかない。おじきもそういう実態を知っているから、お袋から金を取ろうという気持ちもあんまりない。大目に見ていたよな。

小学5、6年ごろから漁に行き始めた。新聞配達も4年ぐらいいからやった。あのころはみんなしていたんじゃないかな。関係まで行った玉乃海、引退してから片男波親方（先代）ね。彼が同じ小学校で僕より一級上だな。一緒に新聞配達をした。

僕らの座の銘は、大衆に響くんです。顔に汗して働く市民の目標で政治をやることですが、やっぱり自分の育った環境が影響しているんじゃないかな。

（敬称略）



6年の時、学校で受験組と、義務教育で高等小学校へ行くコースに分かれるわけじゃ。受験組は中学校など上の学校を受験する。僕は家も貧乏だから高等小学校に行く以外ない。けれども、いくらが負けず嫌いなところがあつたんじゃないかな。受験はしないが、途中から受験組に入れたもつた。

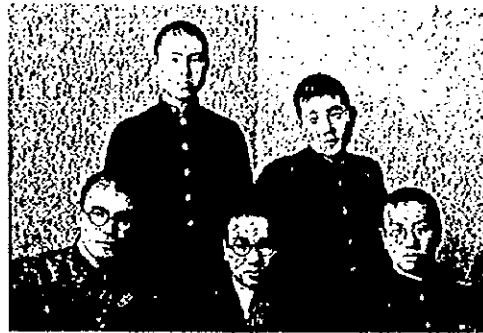
受験組は校内で模擬試験があり、試験の結果が廊下に張り出される。見たら僕が二番目や。それで、これはいかんや、いくらかやる気になったのかな。だから高等小学校へ行つたとき、帯にも背に内さの成績で、優勝で卒業した。

社会党 村山 富市 [2]

この時の経験は、人生の転機になった。やればできるという自信を持ったんじゃないかな。高等小学校を卒業後、東京へ行ったのも、やればできるという気持ちがあつたのかもしれない。ただ、闘争の志に燃えとつ

たわけではない。うちは兄弟が多いし、一人ぐらいいらんでもいいという感じだしな。

▲村山が14歳で上京した1938年(昭和13年)、国家総動員法が公布され、日本は統制経



印刷会社に勤めながら東京市立商業学校に通っていたころの村山富市(前列左)。後列右は弟の安男

つかった。体がきつ、いというより、精神的に余裕がない。大分から一緒に行つた仲間が、早くに辞めて帰ってしまった。僕の父家からも、帰つてこいという連絡が度々あつた。だげと負け犬では嫌ひなかつた。どこかいい所があつたら探そうと思つて

14歳で上京、働きながら学校へ

に入らんし、それくらい働きたつたからな。

最初に勤めたのが五反田の町工場。タイプライターの文字盤を造つておつた。そこで住み込みで旋盤の磨削をやつた。き

近くに築地小劇場があつたら、僕は芝居によく通うようになった。一番思い出深い芝居は「無法松の一生」やな。丸山定夫が無法松をやつて、杉村春子が無法松の妻を演じて、杉村春子が演ずる未亡人を好きになる。丸山がやぐらの上で裸で太鼓をたたき、場面は、今も思い出す。しかし、戦争でなんなん厳しくなつて、新劇は左翼ではな

▲日中戦争が長期化しつつあつたころ、国内で騒動をさらつたのが大分出身の横綱、双葉山の連勝。39年1月場所、安藝ノ海に敗れるまで69連勝した。

僕は有楽座に芝居を見に行つてた記憶がある。その時、ニユースが入つてね、「おい、双葉山が敗れたぞ」と。その話題で持ちきりだったわ。

(敬称略)

時代の証人

芝居好きだったが、僕は
いろいろ本も読んで、島崎藤村
やら北村透谷やら島田三郎
やら。そういう本を読んで、通っ
ていた東京市立商業学校の「翠
商」という雑誌に小品を寄
いたことがある。タイトルは「遠
古の思ひ出」。

主人公の遠古少年は、家が貧
しいから朝、学校へ行く前に魚
売りをしていた。がんだん学校
へ行く時間になっても魚があまり
り売れていない。あそここの家に
行けば必ず買ってくれるんだけ
ど、そこには同級生の好きが女
の子がいるから足が向かない。
—そんな内容。遠古という名は、
藤村の小説「遠古」の主人公・岸

社会党 村山 富市 [3]

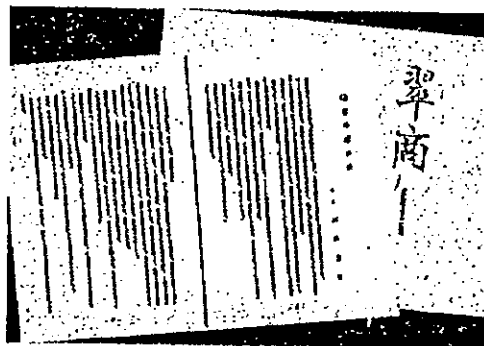
本誌にならなくてね。書いた
雑誌は戦前まで焼けたんだ
けど、持っていた人がいて、3
年くらい前に送ってくれた。
商業学校を卒業後、明治大学
の専門部の二部（夜間部）を受
験して入学した。専門部という

のは今の短大みたいなものじゃ
な。その政治経済科だった。

▲村山が入学したのは194
2年（昭和17年）4月。前年12
月、太平洋戦争が始まった。

藤村、透谷を愛読 雑誌に投稿

明大では哲学研究部に入っ
た。やっぱり自分の生き方に迷
っていたんだ。あの当時
やからな。何をするかという仕
事のことよりも、人間どう生き
るかということが一つの探求課
題だったんじゃないかな。



東京市立商業学校の雑誌「翠商」に掲載
された短編「遠古の思ひ出」（1942年）

大学は途中で昼間部
に移り、勤めていた一
九歳は辞めた。
哲学研究部に丸谷と
いう先輩がおった。北
海道の「ワイン町長」
で有名な丸谷金保
さん（元北海道池田町
長、元社会党参院議員）
ね。彼の紹介で、東大
の赤門前にあった「至
軒寮」という所へ引っ
越すわけです。そこに

半年くらいおったかな。
寮は払わなくてよかった。
食事は寮で食べるから困らな
い。戦争中だから、外食は外食
券制度を使っていた。
寮長は穂積五二という、なか
なか立派な人で、仙人が仙人の

ようで、私心のない人だった。
寮ではよく、宗教的、科学的社
会主義なんていう言葉を使って
いた。やっぱり人間は心が大事
だとか、人間は人種や民族によ
って差別されず平等でなければ
ならないと話していた。飯炊
きしたり、掃除をしたり、寮生
活だけれども、五二さんの生き
方に接して、教えられることが
多かったと思う。寮には、右翼
から左翼からいろんな人が出入
りしていた。だから特高警察
も様子伺いに来
ていた。

入隊する前に、僕は哲学研究
部の世話をしていた大島豊先生
（明大教授）にあいさつに行っ
た。すると先生は、「ちよつと
ついてきなさい」と言って、知
り合いの軍人の家に、僕を連れ
て行った。それはもう大尉や中
将ばかり。武運長久と書いた白
の丸に署名してもらったわけだ。
こういう白の丸を持っていけば
入隊してから扱いが違ふぞ、と
いう大島先生の配慮なんだね。
海軍大尉の末次信正や陸軍大尉
の松井石根の署名があった気が
するね。

（敬称略）

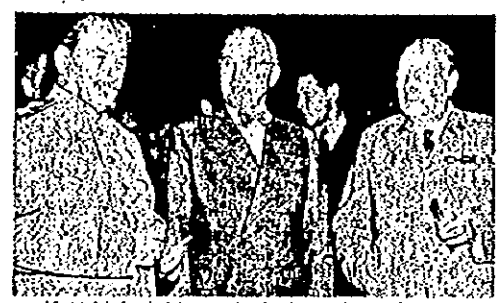
時代の証言

▲村山が宮崎県都城の歩兵第23連隊に入隊した1944年(昭和19年)9月、日本は絶望的な状況に追い込まれており、10月、爆弾を抱えて敵艦に突入する神風特攻隊が編成された

大分から都城に行くわけだが、大分駅には市長を偲めてたくさん見送りにきた。どういふわけが僕が代表してあいさつした。汽車に乗ってからも、一つの車両の班長みたいな役だった。入隊後も指揮班に属し、演習の時、指揮の見習いをやるわけじゃな。そんなことで言えば、僕は割合と楽している。

社会党 村山 富市 団

もう戦争に勝つなんていう雰囲気じゃないものね。畑の出ない本銃を使っているんだから。初年兵なんか食べ物がな。みそ汁を作っても、実は全部、下士官らにつくわけだ。兵隊は汁ばかり。無性に腹がすいた。



ポツダム会議で、左からスターリン・ソ連、トルーマン米、チャーチル英の3首脳(1945年7月)。ソ連は対日宣戦布告と同時にポツダム宣言に加わった=AP

演習中にポツダム宣言のビラ

がから食い物については、厭味抱きたいなもんだな。下士官の食事は、初年兵の当番が運び、後で片付けに行くわけ。彼らはあちこちで食べているから、残飯が残っている。それを今度はみんなであさるんです。

軍隊生活のほからしい矛盾は感じたな。僕がボタンを、一番下だけ留め忘れていたら、それを先輩の兵隊が見つけて、わざと付いているボタンをもぎ取り、「付けとけ」だからね。3か月すると、最初の検閲が

ある。検閲が済むと、あちこちへ配属される。戦地に行く部隊に配属された者もある。僕は幹部候補生の試験を受けた。中隊には内務係准尉というのがいて、試験を受ける者を決めるわけだ。中学などで教練を受けていれば、受験資格があった。そのため何か証明書がある。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

がまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ところが、みんなが受験に行ったら、僕に連絡があつて「直ちに行け」と。行ったら、甲種幹部候補生に合格。そして熊本黒石原の教導隊に入った。米軍機の機銃掃射を受けたことがあった。九死に一生を得たというところでもないけれど、友達と3人で重なって、「死ぬとさば一緒じゃあ」と言ってる。すぐ横をビビッと弾が通るんだ。あれはひどかったな。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

ある日、演習中に空からビラがまかれて、拾って読んだのがポツダム宣言。平和とか民主主義とか書いてある。戦争責任者を処罰するとかね。ビラは破って捨てたけど、これで戦争が終わるのかなと思った。

戦後の故郷

戦争が終わると、さっさと大分に帰った。実家は焼く前に爆撃でやられておったからね。焼けた跡地だった。

一度帰ったあと、除隊手続きが必要だからと、まだ呼び戻された。黒石原の教育隊に復帰してみたら、兵舎の中は何もない。衣服やら毛布やら、きれいに無くなっていた。引き揚げるときに持って行ったわけだね。

僕も何か持って帰らないと寂しい気持ち。兵隊用の大きなやかんと、下士官用の小さなやかんを持ち帰った。でも、一緒に除隊した友達の姉さんが肺を患っていて、水アスがほしいという。帰る途中、南蔵本で大きな

やかんと水アス交換し、水アスを友達にあげた。小さなやかんは、長いこと家で使ったな。実家では焼け残った家を借りていた。もう貸すとか貸さんとかではなく、困った人ほど

社会党 村山 富市 (5)

故郷で漁村民主化に励む



空襲後の大分市街地（1945年7月28日）。米軍資料「大分空襲の記録」より転載

せんべいみたいに焼くんだけど、停電ばかりでうまく焼けない。1週間にも一回ぐらい田舎の友達の家へ行って、材料を補給していた。

僕は五反田の友達のところへ帰った。そこへ大分から電報が届いたんだ。真継一さんという人から、漁村青年同盟の運動を手伝ってくれという話だった。僕は漁師の子じゃからな。東京に決まった仕事はないから、それを手伝うことにしたんです。

意味がない。漁村青年同盟というのは、漁村の古い慣習を破って民主化せよとか、ということに結成され、運動が全国的に展開された。大分では真継さんが旗振りをしていた。

真継さんは、戦争中、統制団体の水産業会に勤めていた。戦後、水産業協同組合が出来て、水産業会が漁業協同組合に切り替わる過渡期にあった。

△この時期、農村でも、戦時中の統制団体であった農協会が、民主的な運営を企図した農協同組合へと改組されていた。農地改革の一環だった。

ただ、農地解放ほどは運動は発展しないよね。網元と引き子といっても、一族みだいなものだから。けれども、漁業協同組合を民主的に運営させるという意図はあったと思う。

空いている所は使わせるという雰囲気だったからね。しばらく大分におったんだけど、全く虚脱状態だ。先が見えないわけだから。とりあえず東京に帰ったんだ。

東京に「農研寮」という、明治の哲学研究部の先輩が買った寮があった。僕は入隊前、一時そこにいた。その農研寮に帰ったわけ。大学には復讐した学生たちが三々五々戻ってきて、哲学研究部を再開し、僕が委員長に推されてやることになった。農研寮の生活はひとかった。配給の粉を練って電気コンロで僕のアパートに住んでもいい、

時代の証言

漁村青年同盟の運動をしてい
るときに、第一回の知事選挙が
あった。僕は社会党の候補の応
援を頼まれ、それがきっかけで
社会党に入党するわけです。し
かし、政治家になろうという意
識はなかった。

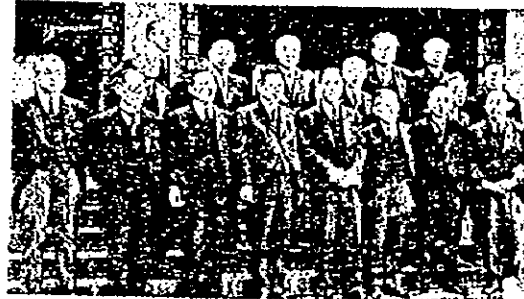
これからは絶対戦争してはい
かん、それから独裁はいかん、
平和と民主主義を基盤にして、
労働者と農民が働く大衆が社
会の主人公になれるような力を
持たなければいかん——僕自身
身も心も考えていて、それを実現
するには、社会党が一番ふさわ
しいと思った。

戦前の漁村の貧しい生活、戦
争体験や戦後の漁村民主化や労

社会党 村山 富市 (6)

働運動を通じて身につけた考え
がつくられてきた。自然な気持
ちで、当然のように社会党の運
動をしてきた。

▲村山が社会党に入党した
1947年(昭和22年)、総選挙
で社会党が第一党になり、同党



新憲法に基づく初の総選挙後に発足した片山
哲内閣。前列左から4人目が片山首相。向か
って右隣が芦田均副総理・外相(民主党紛
脱)、左隣が西澤末広官房長官(1947年6月)

大衆が主人公に 社会党入り

の片山哲を首魁とする連立内閣
が発足。片山内閣は、左右対立
の影響で9か月で倒れた。

片山内閣が倒れたのは、鈴木
茂三郎への社会党委員長。左

派が衆議院議員で、予算
案を否決するわけですね。
やっぱり左右対立はあった
な。僕は上京して、社会党の中
央委員会を傍聴に行ったことが
ある。そのとき、西澤末広(片

山・芦田両内閣関係
右派のち離脱した
社会党結成)が金に
絡んだ事件で責めら
れた。このときと
ばかりに左派が攻撃
するわけですよ。
西澤は、金銭関係
みたいなのをやめら
外して説教するわけ
だ。「この日本の英
知を集めた社会党の
中央委員会でもこん
な発言があると思わ

また、青年部の大会だったか
な。片山哲(右派)があいさ
すると、「ぐずぐず、ぐずぐずし
ないで帰れ」。鈴木茂三郎が帰
ろうとすると「もさもさせんで
帰れ」。左右の対立は激しく、
絶えず分裂の噂を聞していた
な。決定的になるのは講和条約
のときじゃね。

▲51年9月8日、米サンフラ
ンシスコで、対日講和条約が調
印された。日米安保条約も同日、
調印。社会党は講和条約に賛成
の右派と、ソ連
を含む「全面講
和」を主張して
講和条約反対の
左派に分裂した(安保条約は両
派とも反対)。分裂は55年に再
統一されるまで4年間続く。

浅沼稲次郎さん(元党書記長、
元党委員長)が九州を遊説した
とき、同行したことがある。あ
の人は本当に大衆性があった。声
はガラガラ声。ワイシャツの腕
をまくって、トラックの上で演
説しようとした。

ある時、駅の引き込み線に、
扉の開いた貨車が止まってい
た。浅沼さんは中に入り込んで
材木に腰掛け、牛乳を飲んで
いた。それが自然な姿なんだな。
選挙で開口一番、聴衆に向か
って「みなさんの顔を見て安心
した。みなさんの顔には、ちゃ
んと候補者の名前が書いてあ
る」。うまいよ。
演説にけんど、それを聞き通
した。僕は尊敬する政治家を聞
かれたら、必ず浅沼稲次郎を挙
げていた。理論的にはともかく、
浅沼さんの生き様を尊敬してい
た。あの人が日比谷公園で右
翼少年に襲われて死亡した時
(60年)は、もう涙が出て仕方
がなかった。(敬称略)

時代の証言者

▲漁村青年同盟は、漁業協同組合の設立という役目を終えて解散した。村山は1960年(昭和35年)、大分県職員労働組合(県職員)の書記に就く。

県職員の書記は、主として機関紙を作る仕事だった。大分に帰ってから、給料をもらって生活したのはこの時だけだ。当時、あちこちで労働争闘が起き、よく応援に行った。思い出深いのが、日田市厚生労働組合のストライキです。日田というところは温泉街です。山が多くて林業が盛ん、製材所が多い。製材所が出たおがくずは、旅館で温泉の燃料に使

社会党 村山 富市 [7]

われる。製材所で働く人たちは日田の観光なり、林業を支える重要な産業だという意味を込めて、労働組合を作った。それが、上り組争いを始めたんだ。ところが、右も左もわからず労働組合の体をなしていないう。て入れに行つてやれとい

労働争議 “妥協の作法” 学ぶ

いう話があつて、僕が行くことになった。ひとりで着たら、身は自由。そこに1か月居座った。現地に入つて話を聞いてみると、自信が全くないわけだ。でも、今さら引き下がれないとい

う気持ちも見えた。そこで僕は、「皆さんが本気でやるなら、僕は解決するまでここに踏みとまると言ふだけども、やる気がないなら、あっさり脱却して、やめちゃったほうがいい

にもならないし、結束維持が難しい。そこで3分の1ずつストに入つた。まず青年部は県の前座り込んで教育活動をするよう指示した。こういうことで要求を出し



労働運動は政治活動の基盤だった(原稿時代の1966年、スト権奪還闘争の集会であいさつする村山)

い。どちらかだと言つた。そう言われれば、やるというこことになるわね。どこの馬の骨かわかん若造が言っているのだから、半信半疑の気持ちもあつたと思ふよ。

五十幾つもの製材所の従業員が組合を作っているわけだから、全部一斉にストに入つたら、財政的に

申請し、あつせんを持ち込んだ。僕には初めての経験みたいなもので、いい勉強だったな。僕はあつせんのことと話をするんです。わつしといわつしといと損いであるメンバーは、そういう熱意込みがなければ盛り上がりませんし、損ねない。だけど旗を振っているリーダーが、担き手と全く同じ心境だったら、みこしがどこへ行くかわからない。リーダーは、絶えず状況を把握し、誤りのないように引張つていくことが大事です。労働組合を指導する役員も、盛り上がりつつある組合員の心境そのものになりきつたら、いい。

ただ、組合の中からなんだん騒動の音が出てくるわけだ。一番大きな疑問は、「自分のところだけがストをして、ほかのところは働いている、全部一斉にストに入つたらどうか」という意見。そんな声が出たしたら危ない。組合の力も限界にまで来ているわけだ。僕はいったん大分に帰り、地方労働委員会に

(敬称略)

時代の証人

1951年(昭和26年)4月、大分市議選に立候補し、落選した。自分から選挙に出る意思は全然なかった。社会党の候補者は右派だけが決まっていた。左派からも出せという話になった。どうせ通らないから一番若いのがやれと替われ、僕は党の頃の青年部長をしていたから、仕方なく立候補することになったわけだ。だから落選しても、痛みは何もなかった。金も使わず選挙した。バスター力強と高ったけど、紙で大きなスリッパを作り、それで街頭演説をした。観衆に上がり込んで演説したこともある。町風情で、政治にはウソが多すぎるから、

社会党 村山 富市 [8]

今日はお互いの話をしよう、と語ってね。

次の選挙につながらない買だった。僕はそのまま消えたかもしれない。しかし落選した卒新候補の中では、割に票が多か



大分市議時代の村山富市(中央。自治労大分県本部の自治研究集会で) == 1962年

挑戦2度目 市議に初当選

つた。それでもう一回やれという話になり、4年後(55年)初当選したわけです。

△村山が大分市議選に落選してから初当選するまでの4年間は、社会党の左右分裂時代(51年10月～55年10月)とほぼ重なる。

る。社会党大分県連は、右派が口では左がかったことを言うけど、やっていることは右じゃないかという意味だ。僕は、路線をしっかりと踏まえた上、現状を見極めて柔軟に行動するのは当然だ。特に政治に携わる者は現実の政治の動きの中で判断して行動せざるを得ない――

全国的には左派の勢力が台頭して来た。総評(日本労働組合総評議会)が左派を支持したからです。だけど大分県は、右派

の木下郁さん(元衆院議員、元大分県知事)の系列の勢力が強く、党員の数は右派のほうが多かった。僕は組織拡大や財政面で非常に厳しい苦勞した。

「富論左派の行動右派」という言葉がある。あいつは組織拡大や財政面で非常に厳しい苦勞した。お袋が僕に「ほしたことがあ

という考えが骨にあった。かといって右派の路線に乗る気持ちもなかった。漁村青年同盟や労働組合の運動をやっている、労働協同組合や改良主義的なものの考え方に若干の抵抗があった。お袋が僕に「ほしたことがあ

る。僕の選挙を頼みに行くと、「何だかいい」と聞かれるから、お袋は「すいません、社会党です」。追い打ちをかけて「左が

右か」と聞かれると、「いやあ、それが左なんです」。「それならいい」と言われてホッとした。お袋は戦前、社会主義者が弾圧された時代に育ったから、社会党や左派にも、いくらか抵抗があったのかもしれない。市議時代、衆院選の運動で選挙違反に問われた。僕は大地区労の事務局長であり、各県産

(敬称略)

市民の証言

大分市議選を控えて、1986年（昭和61年）、大分県議選に出た。現職議員が衆院議員になり、県議候補が不在で僕に回って来たんだ。市議選も県議選も大分市の有権者が相手だから、あまり抵抗感なく県議選に出馬し、トップで当選した。

僕が良かったと思うのは、党本部書記長などの後援をしていただき、地味な選挙で勝つ、納税者全体的な立場を踏まえながらやっていくことだ。

初めて衆院選に立候補したのは、3期目の県議選に出選した翌年のことだ。

社会党は前回の衆院選で、大分1区に候補者を立て、其側

社会党 村山 富市 [9]

れた経験から候補者を決められなかった。だから新人を出したほうがいいという話になり、僕に自派の矢が立った。僕は衆議院が終わったばかりなのに衆院に引き続きするのは有権者に申し訳ないと思って、だいた底抗した。しかし、一掃に反対し



衆院社会労働委員会で質問する村山富市

は全くめぐり合わせです。めぐり合わせというのは、辞書に「自然に回ってくる運命」と書いてある。希望して進んでやったらわけではない。自然に回ってきた運命に押されて歩かされてきた。

党には70歳定年という規定があったから、70歳まで国会議員をするか、このとき初めて目とすれば何をしようとするか。このとき初めて目と作るのは一番の課題だった。

僕は国民生活の最低レベルを保障する年金は、保険方式ではなく、税方式にして国が責任をもって給付すべきだと主張し続けてきた。当時は消費税はまだない。

「めぐり合わせ」の人生―国会へ

てくれている人たちまで「仕方

がない」と言うから、僕もあき

は、3期目の衆院選に出選した翌年のことだ。

飾る。48歳。この選挙で自民党は、田中角栄首相の日本国交回復の業績を背景にしながら不慮だったが、社会党は復興した。

働く皆さんにとって一番大事なのは雇用だ。働く以上は健康でなければいけないが、それは医療だ。老後の生活をどう安定させるか。年金が大事だ。僕

は、田中角栄首相の日本国交回復の業績を背景にしながら不慮だったが、社会党は復興した。

もう一つは、厚生年金などの被用者年金と国民年金の格差問題を取り上げた。国民年金についても所得比例部分と賦課部分に見合う制度をつくるべきだと議論してきた。その中から国民年金基金が創設された。ただ、保険料は全額自己負担。労働者半分の被用者年金との格差は残っており、これからの課題ですね。

（敬称略）

時代の証人

△1988年1月、村山は衆院予算委員会の理事に就任。この年6月、リクルート事件が発覚。竹下登内閣が提出した消費税法案（同年12月成立）とも絡んで、国会は大きく揺れた。

僕は社労（社会労働委員会）の仕事をやっていた。リクルート事件が発覚した。竹下登内閣が提出した消費税法案（同年12月成立）とも絡んで、国会は大きく揺れた。僕は社労（社会労働委員会）の仕事をやっていた。リクルート事件が発覚した。竹下登内閣が提出した消費税法案（同年12月成立）とも絡んで、国会は大きく揺れた。

社会党 村山 富市 昭

とになった。

予算委員会では国会のひのき舞台です。しかし僕は、表に立ってやるようなことをせず、舞台回しに専念した。僕は野党の理事は、こっぴどい分を通すため、予算案を期日内に成立させないことが一つの課題みたいなものでね。リクルート事件などのスキャンダルが多かったか



与野党国対委員長会談で、左から神田（民社）、村山（社会）、梶山（自民）、神崎（公明）の名氏（1992年2月15日）

△社会は89年の参院選で、リクルート事件、消費税などを追い風に、自民党を上回る議席を獲得、マドンナ議員も数多く誕生した。その立役者だった社会党委員長の上井たか子は、91年7月の党大会で辞任、後任に田辺誠が就いた。この時、村山は国対委員長に就任する。

党大会で規約が改正され、国対委員長と政審会長は、両院議員総会で選ばれるようになった。そうした

住んでいるムラが違う」と断った。ムラとは派閥のこと。僕は政

審構想研究会（政審研。右派の連合体）に所属していた。だが、僕を拒んだのは中間派。どちらかと言えば左かな。

政審研の先輩に相談すると、田辺さんに聞いてみたらと思うので、田辺さんのところへ行っ

た。田辺さんも政審研だった。僕は「意見を聞かせてほしい。やめてくれと思うなら、どんなことがあってもやらないから」と言うと、田辺さんは「あしたの両院議員総会まで時間があ

るから、様子を見よう」と言うので、帰った。

夜遅くなって、相談を持

ちかけた政審研の先輩から「やめてくれ。田辺さんも同じ考え方」と電話があった。僕は「何で相談に行った時、はつきり済まなかったのか。今こう言

われても相談のしようもないし」と言って電話を切った。

そうしたら、次の日の朝刊を見たら、国対委員長は清水勇氏で決まりと出ていた。議連（議院運営委員会）の理事が長く、国対委員長代行をしていた人です。それを見て僕は、誰かが情報を出したんだろうが、少し行き過ぎではないか、今さら引き下がれないと思った。

両院議員総会では、議事進行に関する動議が出た。「国対委員長に2人が推薦されているけど、本人の意思を聞かなくては投票できない」というもの。村山は出ないと誓うだろうと思っ

て動議を出したわけだ。

しかし、僕は「やる以上はみなさんの顔を休してやらせてもらおう」という意味のあいさつをしたんだ。それで投票したら、僕が圧倒的に多かったわけ

です。（敬称略）

議員投票で国対委員長に

ら、国会審議はよく止まった。予算の理事を引き受けたばかりに、僕の人生が大きく狂うことになった。その後、国対委

員長に指名され、党の委員長、総理に拒まれることにつながるわけだからね。

ら、村山を国対委員長に出すという署名活動が始まった。僕は全くやる気がない。「そんなことはやめてくれ。あんなだ

時代の証言者

僕が国対委員長になった時は、国対は盟の権化のように思われていた。国対が悪い、国対で敗戦前の取引が行われ、すべてが決まってしまうというように見られていた。

他党の国対委員長は、自民党が堀山静六さん、公明党が神崎武夫さん、民社党が神田厚さん。それで国対の名譽回復のために、国対委員長で、「話し合いは院内（国会内）で行う」という申し合わせをしたんだ。国対の動向は、マスコミからも世間からも注目をされていたから、みんな割った気持でたつたね。夜、たまに食事をしたことはあったけどな。

社会党 村山 富市 国

当時の国会は、与党自民党に對し、野党は社公民（社会、公明、民社）3党が共闘して当てることを常としていた。事あるごとに、事前にも党内でも話し合せて、与野党国対委員長会談に臨んでいた。3党の連携は、うまくいっていたように思う。堀山氏は非常に強引なところはあるけれども、決断が速く、



党内衆院議長（左）に議員辞職願を提出する社会党・田辺委員長（中央）と社民連・江田代表。この日の夜、PKO協力法が成立した（1992年6月15日）

PKO法反対で議員辞職願

約束したとは守った。それが互いに信頼しあう基礎になっていったんじゃないかなと思う。

△1992年6月、国連平和維持活動（PKO）協力法が自

民、公明、民社3党の賛成で成立した。これに先立ち社会党は、

社民連とともに、所属する全衆院議員の辞職願を提出するといふ、前例のない戦術で抵抗した。

PKO協力法案には、党は命運をかけて反対する方針を決めた。自衛隊はいかなる事情があろうと海外に出すべきではないというのが大前提だった。自衛隊の海外派遣は行わないとした参院決議（54年）もあった。党内の先達議員は「辞表を書くなんてあるか。国民から選ばれた者が勝手に辞

国会の戦いだから、みんなが辞表を委員長に預けることにより、意志の結集を示す意味で重要だ。いいじゃないですか、協力して下さいよ」と言ってるね。お前が言うからしよるが、みんな書いてくれた。

しかし、田辺委員長に辞表を預けたままではいいんだけど、実際に衆院議長に持っていくとは思わなかった。田辺さんがどういう判断、見通しで提出したのか、いまは分からない。辞表を提出した後、これからどうすべきか国会対策委員会でもめた。一出した以上は、潔く

辞めて国会から引き揚げるべきだ」という意見もあったが、僕は反対した。「引き揚げる」と言っても、秘書から議員会館から宿舎から、陣にはいかないうろ。まだ辞職願は受理されていないのに、敵に背を見せる必要はないと。

PKO法成立には、牛歩戦術でも抵抗し、硬直した社会党の姿に對する批判があったかもしれない。反面、よく頑張ったという評価もあった。プラスとマイナスはよくわからんけど、全体の流れに立ち遅れていたのかもしれない。

△直後の参院選で、社会党は改選議席を維持したが、「反消費税」などで躍進した3年前の勢いはなかった。この選挙で細川護国親王の日本新党が4議席を獲得、注目を集めた。

（敬称略）

時代の証言者

▲1993年6月、宮沢内閣不信任案が、野党と自民党羽田・小沢派の賛成で可決された。自民党は分裂。総選挙後の8月、細川護国日本新党代表を首班に、非自民8党派による連立内閣が発足した。社会党は45年ぶりに政権に参画、山花貞夫委員長ら8人が入閣した。

山花貞夫氏は、総選挙の期間中から、完全に小沢（二郎・新生党代表幹事）自民党離党・ペー・スに同調した動きを見せ、選挙後の連立に踏み込んでいた。僕は下から突き上げて反対した。「選挙の最中にそんなことをすべきではない。社会党の

社会党 村山 富市 組

主体と路線を守って選挙をやるべきだ」と。だから山花氏が選挙の応援に大分に来たけれども、受け付けなかった。ただ、あの時の総選挙は、も

山花氏失脚で委員長に



長日投票で、養と村山(1993年9月18日、大分市)社会党委員選挙する

僚が小選挙区制の導入をやらされるようなもんじゃった。土井たか子さんも衆院議長に

う自民党のスキャンダルだらけの政治に飽き飽きして、政治が変わってほしいという国民の意向が強く反映された。それで細川さんが政権を担うことになり、国民の支持も高かった。社会党が連立政権に加わり、国民の期待に応える役割を果たせるなら、それはやむを得ないので

はないかという考えもあって、僕らも政権参加に同調した。そのとき一番の課題になったのが、社会党が反対してきた小選挙区制。小選挙区比例代表並立制を受け入れる条件で一緒に政権を組んだわけだ。皮肉にも山花・政治改革担当大臣、佐藤

▲山花は惨敗の選挙結果（公示前勢力から半減）の責任を取

り委員長を辞任。9月25日、後継委員長に村山が就任した。村山を擁立したのは中間・左派だったが、小選挙区比例代表並立制の受け入れを条件に中間・右派も村山を支持。委員長選は村山が最左派の候補に圧勝した。

たんじゃないか。それから、僕は委員長になつてくれと大騒ぎになった。僕は「絶対だめだ。おれはもう辞めて大分に引き揚げる」と言つたぐらい、強く断つた。大分に帰つていた時、競得に来た議員もいた。渡辺彌蔵さんたちだ。

党内に山花降ろしの動きがあったんじやないかな。僕は山花さんに言ったことがある。「あなたね、委員長を辞める意思がないんや、辞めると言わない方がいよ。後に誰が委員長候補がいるわけじゃないし」と。本人も委員長に未練があったように思う。辞める意思はないんだけれども、形式的にも、やっぱり一応言わざるを得ないというところで、辞意表明したんだな。そうしたら、期待に反して、辞任を求める議員を、勢いづか

で引き受けたんだ。（敬称略）

時代の証言

▲1994年1月21日、小選挙区比例代表並立制の導入を柱とする政治改革関連法案が、参院で野党の反対に加え、社会党議員17人の連立で否決された。しかし一週間後、細川首相と河野洋平自民党総裁のトップ会談で、小選挙区300・比例代表200とするのが合意され、同法案は成立した(29日)▼

党として小選挙区制に賛成しなとはいえ、党内の異論は強かったから、参院で法案が否決されたときは、これで小選挙区制は流れたなと思っただ。再決後、両院協議会が開かれたが決着がつかず、土井衆院議長

社会党 村山 富市 113

長のあつせんが行われた。ところが議長の意図とは別に、総理と野党総裁の話し合いで、衆院で再議に付すことになった。

その過程で、僕は細川さんと院内の総理秘書室で会った。細川さんは「これから自民党の河野さんと会う。一切を一任してく

唐突「国民福祉税」に猛反対

れますか」と言った。僕は「それはできません。何の話か、何を一任してくれというのか分からな

いのに、一任はできない」と断った。細川さんは「わかりました。結構です」と席を立った。

これは形だけ会ったに過ぎないと思っただ。与党第一党の社会党に断りなしに話が進められない、村山委員長は反対かも知れないが、河野さんと会う話だけはしておいてほしい。党

た。これは「院制や議会制民主主義の否定だ。委員長を辞めてでも阻止すべきだった。党は分裂したかもしれないが、議事人として後援が残った。

僕は委員長のとぎに、村山政



政治改革法案の修正について合意した細川首相(中央右)と河野自民党総裁(左)。小沢新生党代表幹事(右端)と森自民党幹事長(左端)も同席。1994年1月28日

内のメンバーがそういうお断り立

てをしていたのではないかと。

国の命運にかかわるような緊

急を要する重要法案なら別だが、選挙制度を変える法案が、

参院で否決されたのに、もうい

っぺん衆院に返ってくる。しか

も、小選挙区の配分を増やすと

いう趣意内容になって生き返っ

権から離脱するかどうかのヤマが2回あった。一つはコメ市場の部分開放問題。これは二晩くらい党内で夜を徹して議論した。党出身の間僚も呼んで「もし社会党が反対したら、あんた

のう」とぼやき、その後記者会見して不同意を表明した。同構想は翌日、撤回された。発表前、首相官邸で政府・与

党首脳会議があり、細川さんから話があった。消費税を廃止する、国民福祉税を創設したい、

全国賛成してほしいという。

僕は一番に手を挙げ、「そんな重要な問題を唐突に出して、

中身もよくわからないのに賛成してくれと言っても無理だ。第二、

今の話では、消費税を国民福祉税という聞き慣れない名前に変

えて、税率を3%から5%に引き上げる話じゃないか。こんな

国民を欺くような話に賛成するわけにはいかん」と反対した。

厚生大臣の大内啓祐さん、官

房長官の武村正義さんに聞いても反対だった。国民福祉税は、

とてもじゃないが受け入れられなかった。

(敬称略)

▲政治改革関連法成立から5

日後の2月3日未明、細川首相

は国民福祉税構想を発表した。

村山は「夜騒ぐのが好きな男」

時代の証言者

国民福祉構想に続いて内閣改組の話が浮上した。僕は首相官邸に行くと細川さんと会った。細川さんは「政治改革は一段落した。これから経済改革に

対応できる内閣に変えなければならぬ。だから改組するんです」という話だった。

僕は「それは名目で、官房長官(武村正義・新党さきがけ代表)を代えるためにやる話じゃないのか。日本新党とさきがけは、結構しよつとまで割った仲じゃないか。懸念は割わないことが多いかもしれないが、それぐらいの官房長官が居たほうがいいんじゃないかと反対した。

社会党 村山 富市 田

細川さんが武村さんについてあることないこと言うから、僕は最後に「そんなこと、あなたの口から出さない方がいい。今

「改新」に不信感 政権離脱

日は聞かなかったことにする」と言っただけ、武村さんを守らなければいかんという思いで武村さん、大内啓佑さん(民社党

委員、厚相)と3人で、時々連絡を取ったことがあるわな。

そのうち入らなれなくなって、武村さんが煙たい存在になっていたのじゃないか。官房長官は内閣の要のポスト。だから武村さんを更迭しようとしたのではない



政権離脱を表明する記者会見に臨む村山(1994年4月26日、社会党本部)

任を取り辞意を表明した。同社を巡る金銭スキャンダルは、金丸信・元副総理が5億円を献金問題で議員辞職(92年)するなど政界

羽田さんが首班に選ばれた後、なかなか組閣の話がないから、僕は3回、官邸の羽田さんに電話した。「どうなっているんですか?」。「まだ話がまとまっていないみたいですが、もうちょっと待っててください」との返事はかりだった。

部屋と隣が同じだと、来たのは初めてだった。これまで大内さんは、僕と武村さんと3人で会っていたとき、「民社党の中にもいろいろ意見はある。しかし、最後には僕が言った通りに決まる」と自信のほどを示していた。

そのうち、マスコミからの情報で、新しい会派が結成され、衆院事務局に届け出があったという。同の話も連絡もなしに、社会党を除いて「改新」を充足させて、これから羽田内閣が生まれようとする組閣の前に、こんなことをするようでは信頼にもとるし、お互いの信頼関係は失われたと思った。

直ちに執行委員会を議論し、賛場一致で政権離脱を決めた。改組の話が表面化する前、大内さんが、議員会館の僕の部屋に来た。大内さんの部屋は僕の

かと思っただけ、そうであればあるだけ、武村さんを守らなければいかんという思いで武村さん、大内啓佑さん(民社党委員、厚相)と3人で、時々連絡を取ったことがあるわな。そのうち入らなれなくなって、武村さんが煙たい存在になっていたのじゃないか。官房長官は内閣の要のポスト。だから武村さんを更迭しようとしたのではない

かと思っただけ、そうであればあるだけ、武村さんを守らなければいかんという思いで武村さん、大内啓佑さん(民社党委員、厚相)と3人で、時々連絡を取ったことがあるわな。

そのうち入らなれなくなって、武村さんが煙たい存在になっていたのじゃないか。官房長官は内閣の要のポスト。だから武村さんを更迭しようとしたのではない

部屋と隣が同じだと、来たのは初めてだった。これまで大内さんは、僕と武村さんと3人で会っていたとき、「民社党の中にもいろいろ意見はある。しかし、最後には僕が言った通りに決まる」と自信のほどを示していた。

そのうち、マスコミからの情報で、新しい会派が結成され、衆院事務局に届け出があったという。同の話も連絡もなしに、社会党を除いて「改新」を充足させて、これから羽田内閣が生まれようとする組閣の前に、こんなことをするようでは信頼にもとるし、お互いの信頼関係は失われたと思った。

直ちに執行委員会を議論し、賛場一致で政権離脱を決めた。改組の話が表面化する前、大内さんが、議員会館の僕の部屋に来た。大内さんの部屋は僕の

時代の副首相

▲1994年6月25日、少数与党の羽田内閣は、不信任案可決が必至のため、7か月で総辞職した。社会党では、総辞職後に政權復帰して羽田の首相再任を認める考えが主流だった。しかし、村山側近の野坂浩賢国対委員長ら中間・左派は、村山を前班とする自民党・新党さきがけとの連立に動いた▼

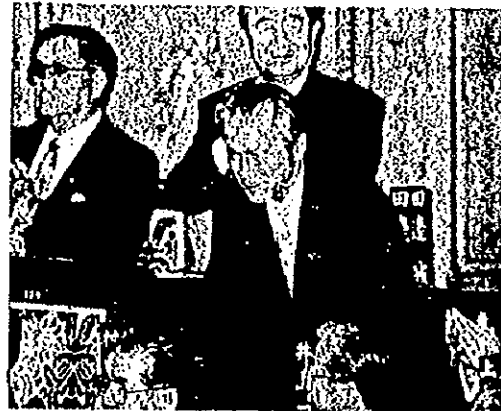
当時の羽田内閣に対して、野党は、自民、社会、新党さきがけの3党で、必要に応じて連携していたともあったから、野坂浩賢などは「辞めて死んだ人が生き返ってくるのはおかしい」と言っていた。僕は必ずし

社会党 村山 富市 昭

も野坂君が言うことにこだわってなかった。羽田さんは失政で辞めるわけじゃない。各党が同意するのであれば、返り咲くこともあるんじゃないかと。政局が混乱している中で、新党さきがけから、僕に総理をやってくれという話があった。僕は「ためです。どうしても社会

「自社さ」の支持受け首相に

党から総理を出してくれというなら、有能な先輩もいることだから党内で議論してもいいが、僕は「ためだ」と断った。その前に、自民党の石原慎太



首相指名選挙で首相に選ばれ、礼する村山

めです」とお断りした。

その後、自民党の河野洋平総裁からも度々電話があったが、連立与党と協議中なので会わなかった。しかし再三再四、電話があり、礼を失しても悪いから久保田善紀長と一緒に会った。自民党は、森喜朗幹事長も一緒だった。

その時に、河野さ

けしてほしいという話だった。しかし、僕は「せっかくの話ですが、羽田さんの側との話が続いている。片方でこんな話をするのは尚書にもよるので、今日は話があったということだけでとめてほしい」と言って別れた。

ところが、第一回日の投票で僕のほうが多かった。大変なことになるかと思った。休憩をはさんで決選投票を迎える時は、もう成り行きに任せる以外ないという心境。決選投票後、土井衆院議長に首相指名を告げられ、拍手に促されて立った時は、これはもうしょうがないなど。

党内は羽田さんの時には、全一一致して羽田さんに投票したが、僕の時には、海部さんに入れた票も棄権票もあった。僕は細川政権についても悪いことは悪いと反対していたから、彼らにとっては面白くなかったのかもしれない。まあ、僕の不徳の致すとさうだ。(敬称略)

村山内閣が発足した▼

首相指名の本会議前のこと。党の中央執行委員

会では、若干異論はあったけれども、党首の僕に投票する以外ないじゃないかと決まった。自民党はだいたいもうめたらしいね。なんぼなんでも社会党に入れるわ

郎氏と中尾栄一氏が僕の部屋にお見えになった。珍しい人が来たなと思ったり、「あなたに総理をやってもらえんか」という話。「とんでもない。それはだ

んから真摯に吐露する切々とした話があった。「これは党で話したわけではない。私個人の判断ですが、決めたら責任をもって支えます」と。僕に総理を受



首相就任後、いきなりナポリ・サミット（主要国首脳会議）があった。僕はサミットで首相のなによりやらないかという責任感もあって、出発前、関係者からレクチャーを熱心に受けた。首相経験者の宮沢さん、竹下さんにも話を聞いた。

宮沢さんは「言葉なんか気にすることないですよ。通訳がいるから、日本語でしゃべればいい」と言ってくれた。それで安心した。

ナポリでは最初に、クリントン米大統領と首脳会談をした。まずクリントンから、北朝鮮の核問題について意見交換したいという話があった。

社会党 村山 富市 氏

▲村山が首相に就任する直前の1994年6月、朝鮮半島情勢は、北朝鮮の核開発疑惑を巡って緊迫。カーター米元大統領が訪朝して金日成主席と会談、



ナポリ・サミットの際の日米首脳会談を終え、クリントン大統領（右）と記者会見する村山（1994年7月8日）＝AP
スト（社会主義者）が日本の首相になった」と言っていて、これからの日米関係に誤解や不安があるようだ。ちよつと話を聞いて欲しいと話した。

クリントンは「いや、良い話を聞かせてもらったと言っていて、本当に安心したような顔をしていて。彼は「アメリカのマスコミの報道も、だいぶ誤解があるな」と言っていた。

▲7月8日、村山はサミットの夕食会の席で体調を崩し、緊急入院。急性胃腸炎だった。同日、金日成が急逝し、朝鮮半島情勢に世界の不安が走った。

日米会談「誤解」解いた30分

危機を打開した経緯があった▼

その時に僕は、日本は被爆国だから国民を挙げて核廃絶を求めている、まして北朝鮮が核を持つことは許されないと強く主張した。その上で、「北朝鮮は2000年の交流がある隣国だ

だ。それが戦後50年もたつて、いまだ不正な関係にあるのは不自然だ。いずれ国交正常化すべきだ」という国民の気持ちがあることは、理解して欲しい」という話をした。

次いで僕は、「おたくの国のマスコミ報道には、ソーシャリ

たかな。戦後兵隊から帰る社会党に入社したこと、闘った戦争を二度としないこと、

軍の独裁が道を誤らせたこと、平和と民主主義を基調にした日本をつくり、働く皆さんが社会的にもつと力を持つべきだと考え、これまで運動してきたと

緊張の上に疲労がたまったのかもしれない。

個別会談が終わってから「朗城」という会場で首脳会議が行われた。庭の入り口でウェーターが飲み物を持って立っていた。僕も、何のためらいもなく取って飲んだら、甘くて冷たい

話をしながら庭を散歩したりして、何でもなかった。ところが、首脳会議の丸いテーブルについていたら、おなかがおかしくなった。これはいかんと思いを足したが、脱水症状となり、病院に運ばれた。首脳会議は河野洋平外務大臣に代わってもらった。

翌日はやや回復してホテルに帰ったが、首脳会議に出られなかったのは残念で申し訳ないことをした。

（敬称略）

時代の証人

自衛隊の発展をまとめるに当たり、書記長や政務会長ら党内の主な意見や地方の活動家、学者の意見も聞いた。



自衛隊合憲を表明した衆院本会議で笑みを浮かべる村山（1994年7月20日）

「自衛隊合憲」議場にどうよめき

▲村山は首相として最初の国会で、社会党の自衛隊違憲論を合憲論へ転換。「専守防衛に徹し、自衛のための必要最小限度の兵力組織である自衛隊は、憲法の認めるものと容認した（1994年7月20日）。これに先立ち、日米安保体制についても堅持する考えを表明した」

基本政策をめぐっては、最初に石原慎雄・自衛隊良友から、「安保と自衛隊の発展について、早期にはっきりさせたほうがいい」と通言があった。常識的には、総理は自衛隊の良だから、憲法違反だといって否定することは出来ない。

社会党 村山 富市 昭

「3党（自民、社会、新進）が、連立政権としては自衛隊は合憲と認める」ということで済むなら、それがいいと思った。細川内閣では、社会党の閣僚は、連立政権と社会党の政策を使い分けていた。

これまで党内でも、連立・合憲という議論は随分してきた。専守防衛に徹した、今程度の防衛力なら認めていいという国民の8割近い支持もあるとして、これから社会党が大きくなって政権を担う時代を考えたとき、いつまでも自衛隊は違憲だと言い切つて済ませるかどうかが、そのようなことも考え、この機会に合憲に踏み切ろうと決断した。

衆院の本会議場で自衛隊について答弁しようとした時、わあ、やじが出た。僕は「大事なところだから、よくお聞き下さい」と言ってから、「最小限度の自衛力は合憲である」と答弁した。

自民党の議員は拍手だ。社会党の議員は、機がよめきがあった。現実的な政策転換ができなかったのは、右と左の確執があったからだ。最左派の社会主義協

僕にとっては、党内の反応が一番気になった。答弁は、よく打ち合わせて決めたから、うちの議員には、その話は徹底されていると思っただけに、意外な感じがした。しかし、もう割り切っていたので、僕自身が動揺するとはなかった。

会派の影響も強かった。一貫して自衛隊は違憲という立場を堅持してきた岩の路線を突くのは、よほどのことがない限り不可能だった。しかし、社会党が首班を出し政権を担うということとは、よほどのことなわけだ。自衛隊は違憲だと、これまで強く主張してきたのは社会党と共産党だ。しかし、自衛隊の廃止を真正面から打ち出すことは出来なかったし、していない。

▲自衛隊について 社会党は、80年代に石橋政嗣委員長時代の「連立合憲論」や、90年代に入って「自衛隊の存在を重視」（92年運動方針）、「固有の自衛権に基づく最小限自衛力と日米安保条約を許容」（未採択の93年宣言書）などの見解で現実路線を構築したが、合憲論には踏み切れなかった。ただ、非武装中立というのは党の生命みたいなものだった。僕自身もそのような運動をやってきただけに、それを転換することには、これでもいいのかという気持ちは最後まで残った。

（敬称略）

時代の証言者

地震発生は、朝6時のニュースで知った。京都などの震度が出ていたが、神戸はなかった。すぐに京都の知人に電話をかけた。「震動は激しかったが、幸い被害はなかったというから、それは良かったなという程度にしか受け止めていなかった。

△阪神・淡路大震災が起きたのは、1995年1月17日午前5時46分。死者6400人超と戦後最悪の自然災害となった。

災害担当の秘書官が、ニュースを見て電話をかけてきた。被害が大きくなるおそれがある」といふ。彼は船中だった。僕

社会党 村山 富市 18

は五十嵐官房長官と連絡を取り合い、情報収集を指示したが、事態はつかぬまま、死者は10人と20人という感じだった。

午後の政府与党首脳連絡会議のとき、消防庁長官から電話が

大震災で危機管理の不備痛感

かかってきた。死者が2000人を超えたといふので、僕は「えっ」と声をあげた記憶がある。

震動は制度にとらわれず、必要なことはやり尽くせ。責任をもつから」と指示した。

翌日、後藤田正晴さんが官邸に訪ねてきて、「総理、地震は天



小学校の体育館で避難生活を送る被災者を見舞う村山。隣は武村蔵相(1995年3月5日、神戸市東灘区で)

な。訪れた学校の校庭にマスコミが押し寄せた。僕は混乱すると思い、すぐ引きあげた。もう一か所設けてくれと頼んで、そこでマスコミを入れずに話を聞いた。僕は現地に入りが遅かったと批判されたが、こつた返し混乱しているところに行ったら、警備などで迷惑をかける。少し遅れ書いてか

△21日、神戸市長田区で、カレキからお年寄りの男性が、100時間ぶりに救出された。

「現地は災害対策に携わる者が全部被害者で、その困難な状況は想像を絶するものがあったと思う」と言つた。しかし、官邸がいち早く全容把握に努め、総合的に緊急的な対策をどんどん打っている仕組みがあつてしかるべきだ。テレビを見ながら情報をつかむような体制だったのだから、話にならん。だから、僕は国会で不手際を認めたいわけだ。

男だから助きようがない。だけれどもこれからは人災になる。しっかりとやってほしい」と言われた。確かにそうだ。僕は「抜かりなくやらせてもらいます」と答えた。

良かっと思つたのは、総理大臣を本部長に、各閣僚をメンバーにした緊急対策本部を、閣議決定で作ったこと。内閣を挙げて取り組むことができた。現地にも対策本部を設け、県や市町村と連携した対応が出来た。

当時、緊急、突発的な災害や事故に対する備えが十分でなかったことは、いくら責められても弁解の余地はない。

「僕が国会で『なにぶん初めての経験で早朝の出来事なので』と答弁しかけたら、ヤジが飛んだ。だから話をしなかったが、

されていると思う。(敬称略)

時代の証言者

▲戦後50周年の1995年は、阪神・淡路大震災に続き、オウム真理教の地下鉄サリン事件、同教団への強制捜査(3月)、全日空機ハイジャック事件(6月)と大事件が続いた。4月の統一地方選では、東京知事に青島幸男、大阪知事に横山ノックが無党派候補の支持を受け当選。背景に政界不況が指摘された。

わずか70名の議席しか持たない党の党首が総理になるというのは、憲政の常道に沿わない。しかし、必然性があつて生まれた内閣だ。この内閣でなければ出来ない歴史的役割がある。それは何か。戦後50年の節目に、

社会党 村山 富市 氏

はじめをつけて、新しいあり方、方向性を明示するところだ。それをやり遂げたら、いつ辞めてもいいと考えた。



首相指名から1年。テレビ録画のため化粧をする村山(1995年6月29日、首相官邸で)

案の定、いろんな意見が出てきて、もみくちゃにされたわけだ。衆院は決断した(6月9日)けど、野党の新進党は欠席した。参院は決断を見送った。

本に対する不慣れが、国によって濃淡の違いこそあれ、完全に拭き取れないのではないかと感じた。50年の節目にけじめをつけるという3党の合意もあり、日中韓はもとより、アジア諸国との関係など、これからの日本のあり方を考え、国会決議とは別に、内閣のきりんとした方針を盛り込んだ総理談話を出す必要があると思つた。

案文が出来た後、僕は橋本竜太郎通産大臣に電話し、意見があるか聞いた。橋本さんは「意見は別にないけれど、この案文には敗戦と終戦という二つの言葉が使われている。どちらかに統一したほうがいいんじゃないか」と。僕は「それは僕も賛成だ。どっちに統一したらいと思つた」と尋ねると、橋本さんは「敗戦のほうがいいんじゃないか」。「ああ、それはありがたい。僕もそう思つ」と答えて、敗戦に統一することにした。

「国策の誤り」認める首相談話

未解決の問題を議論してもらつた。被爆者援護法の制定、水俣病問題の解決、地方分権推進法の制定、元従軍慰安婦のための基金設立などだ。

する国会決議をするのは難しいよね。植民地支配一つとっても「それは日本だけの問題ではなく、その時代の風潮だった」というように、議論が矮小化されてしまつ。僕はあんな決議をするなら、やらないほうがいいと思つたくらいだ。

韓国をはじめアジア諸国、中東諸国を訪問した。敗戦から立ち上がり、世界第2の経済大国になった日本に対し、ODA(政府開発援助)などもあつて、敬意を払い感謝する言葉も聞いた。

▲8月15日、村山は首相談話を発表した。「わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とり

(敬称略)

時代の証人

▲1995年7月の参院選で、社会党は過去最低の16議席にとどまり、自民党も比例選で野党の新進党を下回った。村山は、選挙前後の与党3党首会談で辞意を漏らした。

自民党総裁の河野洋平さんに、「憲政の常道に戻して、この際、総理をやたらどうですか」と打診した。僕は第1党の党首が総理になつたほうが政局は安定すると考えていたし、何よりこれまで3党連立政権を維持する上で、選挙時の合意事項を守ってくれている河野さんの厳格な人柄を信頼してきた。私は3党連立政権の首相とし

社会党 村山 富市 20

退陣 新党問題に力注ぐ

て、選挙の結末の責任も考えて、本心にそう思った。
しかし、3党首会談で新党ききがけの武村正義さんが「うち



首相辞任の記者会見をする村山（1996年1月5日）

は村山さんが総理を継続する前提で、ここにきている。替わるとすれば、相談させてもらわない」と言われた。いったん休憩した後、河野さんが「引き続きやってみよう」と言われたので、話は打ち切りにした。

▲村山は翌96年1月5日、「人一新」を理由に、突然退陣を

表明した。同日中に内閣総辞職。在職日数は561日だった。

いよいよ辞意を固めたのは、戦後50年の総理談話を出したことで、戦後積み残した問題で一応の解決をみたこと、平均株価が2万円台を回復し景気が上向きになってきたことなどを自分なりに判断した。

その上で、今後待ち受けている行財政改革、経済改革などの大きな課題を考えると、この内閣の力の限界を考えたことを得ない。肝心の主体となるべき社会党は、新党問題で揺らいでいた。このような不安定な、脆弱な政権基盤で総理の座に居ること、国のためにも党のためにも良くないと判断した。総理を辞

めて、党の立て直しをやろう、それが僕の最後の役割じゃないかと思った。
総理をやっているとき、悩ましい問題があつて眠れないと睡眠薬を飲んだこともあった。
辞任表明の時期を1月5日に選んだのは、参院選後に内閣改造して、初めて正月を迎えるのだから、大臣として迎えてもらいたいと思ったからだ。また、通常国会の審議が1月過ぎに始まる。新内閣の大任が準備する期間も考えた。
5日がいいのではないかと判断した。

前日4日の晩、野坂富房議員に話したら、弾く反対された。僕は細川内閣の改造に反対した時、「予算審議の前に改造するのは、筋としておかしい」と言ったのだが、野坂君はそれを逆手に取って、「予算審議の前に辞めるのは無責任だ」と。僕は「これは相談じゃない。決めたことなんだ」と押し通した。それが済むと、橋本竜太郎さんに電話した。その時は、自民党総裁だ。彼はアメリカに行く予定だったから、僕は「ちょっと相談があるので、行くのをやめてくれないか」と言ったら、彼は勘のいい人だから「わかりました」と承知してくれた。
最初に僕が相談したのは、武村さんだった。改まった話じゃなく、「もう辞める時期だと思ふ」と投げかけると、「早いなじゃないですか」と。前年12月に入ってからそんな話をした。暮れに伊豆の旅館で武村さんと会ったとき（29日）は、むしろ新党の話が主だった。あのころは、社会党と新党ききがけが一緒になり、リベラル勢力を結集して新党をつくれなかと話をしていった時期だったからね。
（敬称略）

時代の証人

僕の結婚時代、党内の右派は冷やかた。左派は積極的に支持協力してくれた。右は、足を引っ張るだけで分裂志向。新党、新党と騒いでた。

新党論議では、民主リベラル勢力の結果という結果が使われていた。僕は社会民主主義の路線を軸にしたリベラル路線の路線を考えていた。党内には社会民主主義にこだわらず、保守層を含むリベラル結果を図るべきだという意見もあった。新党構想には路線の違いが絡んでいた。前任の参議長の山花貞夫氏が、離党届を出したことがあった。僕は山花に山花氏を呼んで、2人で話した。「あんなの親父

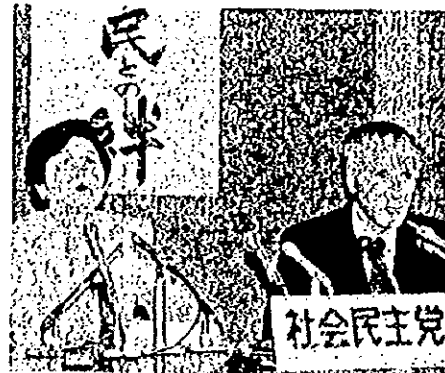
社会党 村山 富市 21

さん(山花秀雄・元副委員長)も戦争中に、無産運動の旗を守ってきたじゃないか。お互い手を携え、お父さんの意志を継いで頑張っていくじゃないか」と話したら、目標は同じでも登る

党名変更、分裂、そして引退

道が違つた。僕は登る道がどう進めばいいか、話さなければいじやないかと説得したが、聞く耳を持たない感じだね。結局、分かれて行くことになった。

▲村山の退陣表明から2週間後の1996年1月19日、社会



社民党党首就任を受諾した土井たか子(左)と村山(1996年9月29日未明)

僕は第三役を首相に呼んで、話し合った。その席で僕は「それじゃ看板を変えただけの話で、客観的に新党と認められるような、新しい旗を掲げて進めるのでなければ意味がない」と反対した。皆、しよがらない

党は定期党大会で、社会民主党に党名変更した。

辞任の意向を固めていたころ、党のほうでは、午前中に党大会を開いて社会党を解散し、その日の午後、新党を結成するという段取りを決めていた。

と僕の意見に同意した。党名についても、僕が党内からいろいろ考えられていた。しかし「社会」という言葉はなかった。僕は「社会」を残すべきではないかと考え、話し合いの結果、社会民主党という党名になった。

いざ新党に行くという段になった。僕らを差別すると。それは、歴史と伝統を持つている社会党が、ばらばらにされることだ。僕は、そんなことは許されんと反対したわけだ。

▲同年秋、小選挙区制導入後の総選挙をにらんで新党設立の動きが加速した。衆院解散翌日の9月28日、新党さきがけの鳩山由紀夫と菅直人を代表に、民主党が結成された。結成に際し「排除の論理」が取られ、さきがけの武村正義や社民党の丸ごと参加が拒否された。社民党は民主党含流組と、社民党残留組に分裂。党首は村山から土井

たか子に交代した。総選挙で村山は小選挙区で勝ち残ったが、党は公示前の30議席から15議席に半減した。村山は2000年に政界を引退する。

この連戦は、解散部・重森樹が担当しました。次回は、23日から、名門上原 高野俊子に始まりま。

されんと反対したわけだ。

労働組合は、もう新党に乗って走っていて、社民党は支持できないと言っていた。そういう声に党内が動揺した。社民党に残った人は、労働組合にも抵抗して踏みとまった。僕は踏みとまった人間を責める。選挙になれば組合の推薦を得られないかもしれないが、それでも信念を曲げることはできないと、社会民主主義の路線を守って頑張っている人たちがいる。

僕の政治家としての信条は、平和と民主主義を守ることにある。教条主義に陥らず、戦術は柔軟に対応する必要があるが、社会党の旗は守っていきたいと思っていた。(敬称略・終わり)

この連戦は、解散部・重森樹が担当しました。次回は、23日から、名門上原 高野俊子に始まりま。